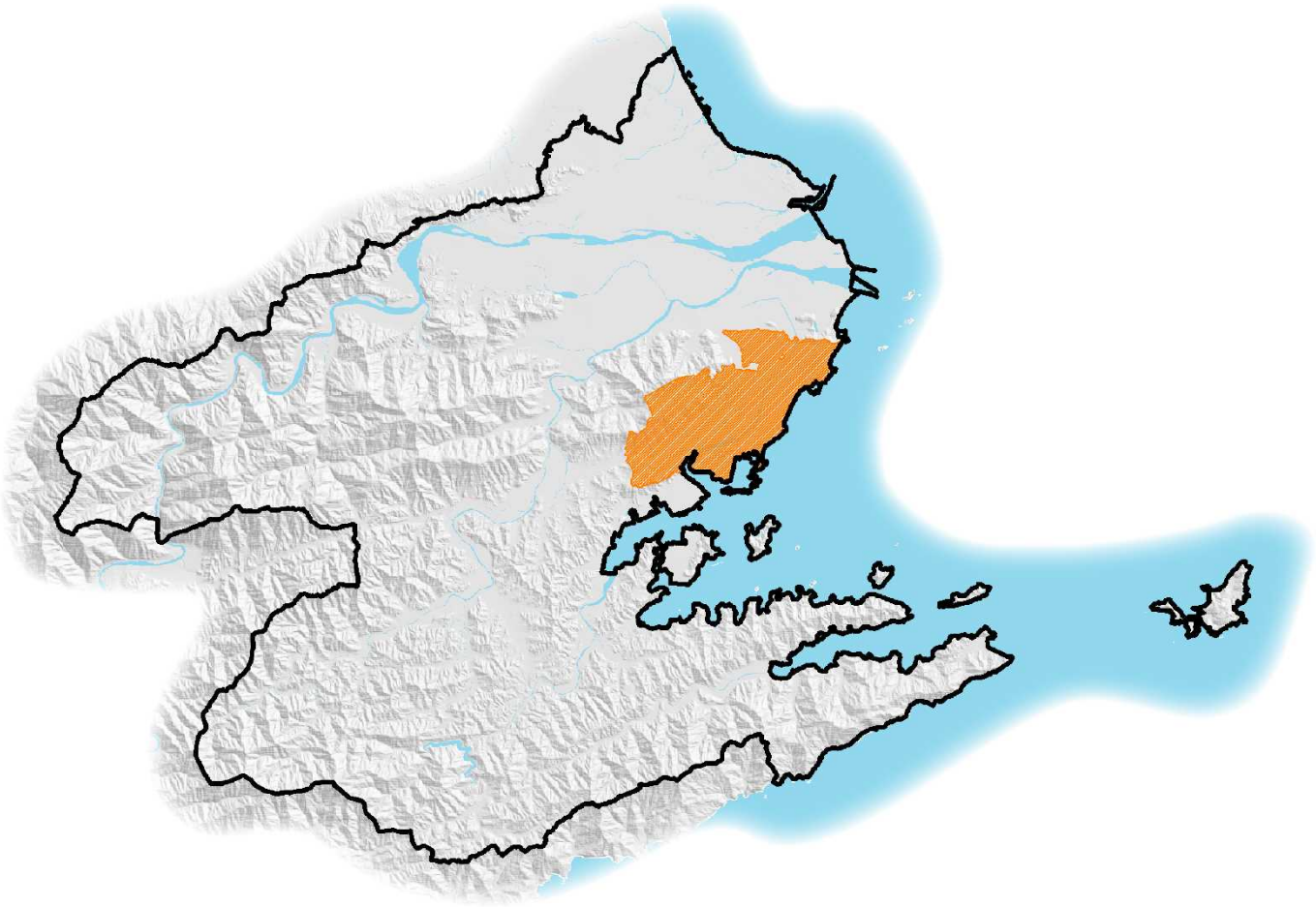
津　波　避　難　計　画

対象地域：見能林地区



令和２年３月　作成

令和３年３月　修正

阿南市

目　次

第１章　総則 1

１　計画の目的 1
２　本計画の使い方 1
３　本計画で想定される地震・津波 1
４　用語の意味 2

第２章　想定される地震・津波と被害想定 3

１　阿南市全域の被害想定等 3
２　見能林地区の被害想定等 10

第３章　見能林地区の津波避難対策 14

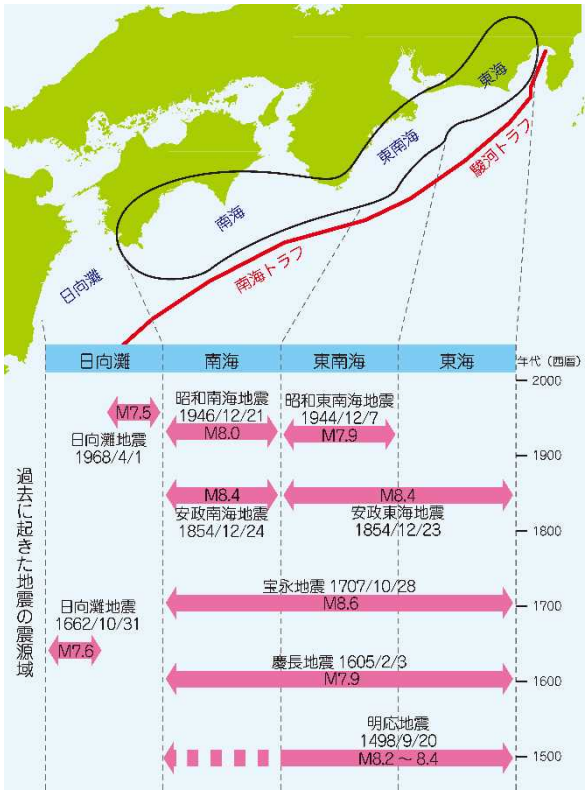
１　地形、地質的な特徴 14
２　社会環境 16
３　避難対象地域の設定 18
４　津波時の避難先の設定 19
５　津波避難シミュレーション 42
６　津波時の避難先の課題 67

第４章　今後の取り組み 68

１　津波避難訓練 68
２　避難行動要支援者の対策 68
３　自主防災組織の結成促進 68
４　建物・家具の耐震対策 69
５　非常持ち出し品・備蓄品の準備 70
６　定期的な計画の見直し 71

第１章　総則

１　計画の目的



南海トラフ地震は、これまで 100 年から 150 年程度の間隔で Ｍ８クラスの巨大地震が繰り返し発生し、周辺地域に甚大な被害をもたらしている。

阿南市においても、南海トラフの地震により大きな被害が想定されていることから、被害を最小限に抑えるために、地域社会（自主防災組織、町内会、自治会等）、学校、事業所などが市と一体となって対策を進める必要がある。とりわけ、地震に伴う巨大な津波に対しては、住民一人ひとりが迅速かつ主体的に避難行動が取れるよう、自助、共助の取り組みを強化しなければならない。

本計画は、南海トラフ巨大地震による最大クラスの津波に備え、津波による人的被害を軽減するために、住民一人ひとりが津波から避難する意識を高め、共に助け合い、津波から迅速かつ円滑に安全な高台や津波避難ビル等へ一時的に緊急避難することを目的として、作成したものである。（二次避難所については検討していない）

２　本計画の使い方

この計画は、令和３年３月に阿南市が修正した「阿南市津波避難計画」に基づき修正に取り組んだもので、見能林地区における津波時の避難先のほか、避難先までの避難経路や避難の際の歩行速度等をコンピュータ上に再現して算出した「津波避難シミュレーション結果図」等を掲載している。

この津波避難シミュレーション結果図では、自宅からどこに避難すれば良いか、その場所に避難するために必要な時間はどれくらいかを確認することができるが、実際の避難行動と差異が生じる可能性もある。

よって、今後は、この計画に基づき津波避難訓練を繰り返し実施しながら、さらなる課題の抽出、対策の検討を行って、より良い計画に改訂していくこととする。

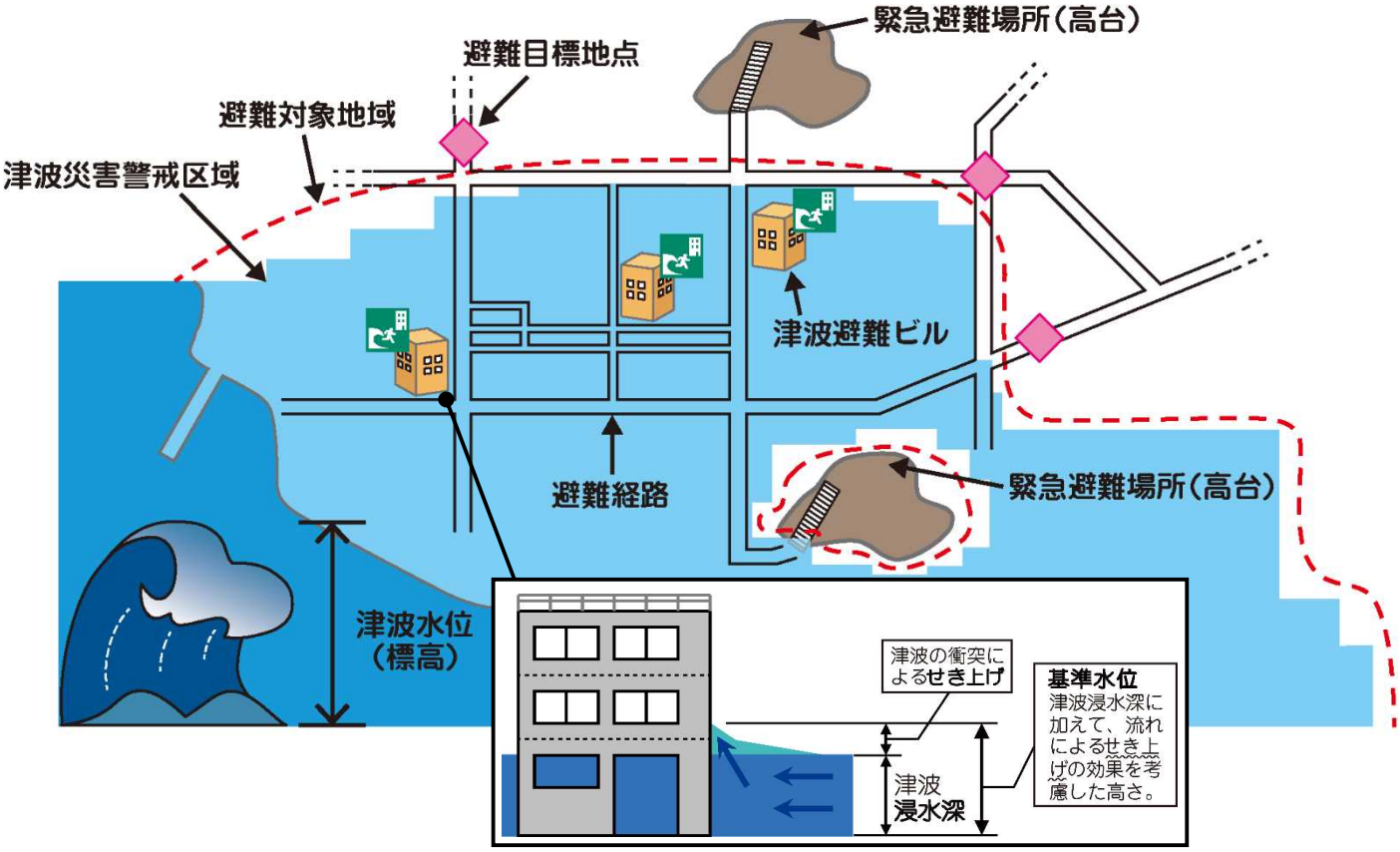
３　本計画で想定される地震・津波

南海トラフの地震は、宝永地震を最大級として想定したレベル１（過去に大きな被害を発生させたクラスの地震・津波）と、東日本大震災の発生を受け想定震源断層域を見直した最大クラスの津波を想定したレベル２（起こりうる最大規模の地震・津波）が想定されているが、本計画では、地域最大のリスクを想定し、それに備えることを目的とすることから、レベル２の地震・津波を前提として計画を策定する。

4　用語の意味

本計画において、使用する用語の意味は次のとおりである。

No.	用語	意味	
1	津波浸水想定区域	最大クラスの津波が悪条件下を前提に発生したときの浸水想定区域。	
2	津波水位	津波による海岸線での最大水位（標高）。地震による地盤の沈降量を考慮し算出。第一波が最大とは限らず、第二波以降に最大となる場所もある。	
3	基準水位	津波浸水想定に定める浸水深さに加えて、流れによって建築物等に衝突した際の水位のせき上げ効果を考慮した高さ。	
4	避難対象地域	津波が発生した場合に避難が必要な地域で、津波災害警戒区域（津波浸水想定区域に基づく）に基づき市が指定する。安全性の確保、円滑な避難等を考慮して同区域よりも広い範囲で指定している。	
5	避難経路	避難する場合の経路で、自主防災組織、住民等が設定したもの。通行が困難と思われる箇所についてはシミュレーション対象外としている。	
6	避難目標地点	津波の危険を回避するために、避難対象地域外へ避難する際に目標とする地点。	総称して、**「津波時の避難先」**と表す。
7	市指定津波避難場所	津波災害警戒区域内、または同区域近傍の公共施設で、地域防災計画で指定されている津波時の避難場所。	
8	緊急避難場所	津波の危険から緊急に避難するための高台や施設など。津波災害警戒区域外にある。	
9	津波避難ビル	津波の危険から緊急に避難するための建物。津波災害警戒区域内にある鉄筋コンクリート造あるいは鉄骨鉄筋コンクリート造の建物。津波避難ビルでは、基準水位より高い場所を「利用できる場所」として定めている。 津波避難ビルに指定された建物には、右の看板が取り付けられており、夜間休日を問わず避難が可能。	



第２章　想定される地震・津波と被害想定

１　阿南市全域の被害想定等

（１）震度分布図

平成２５年７月３１日に徳島県が公表した「徳島県南海トラフ巨大地震被害想定（第一次）」においては、阿南市では最大震度７が想定されており、市全域で大きな被害を受ける可能性がある。

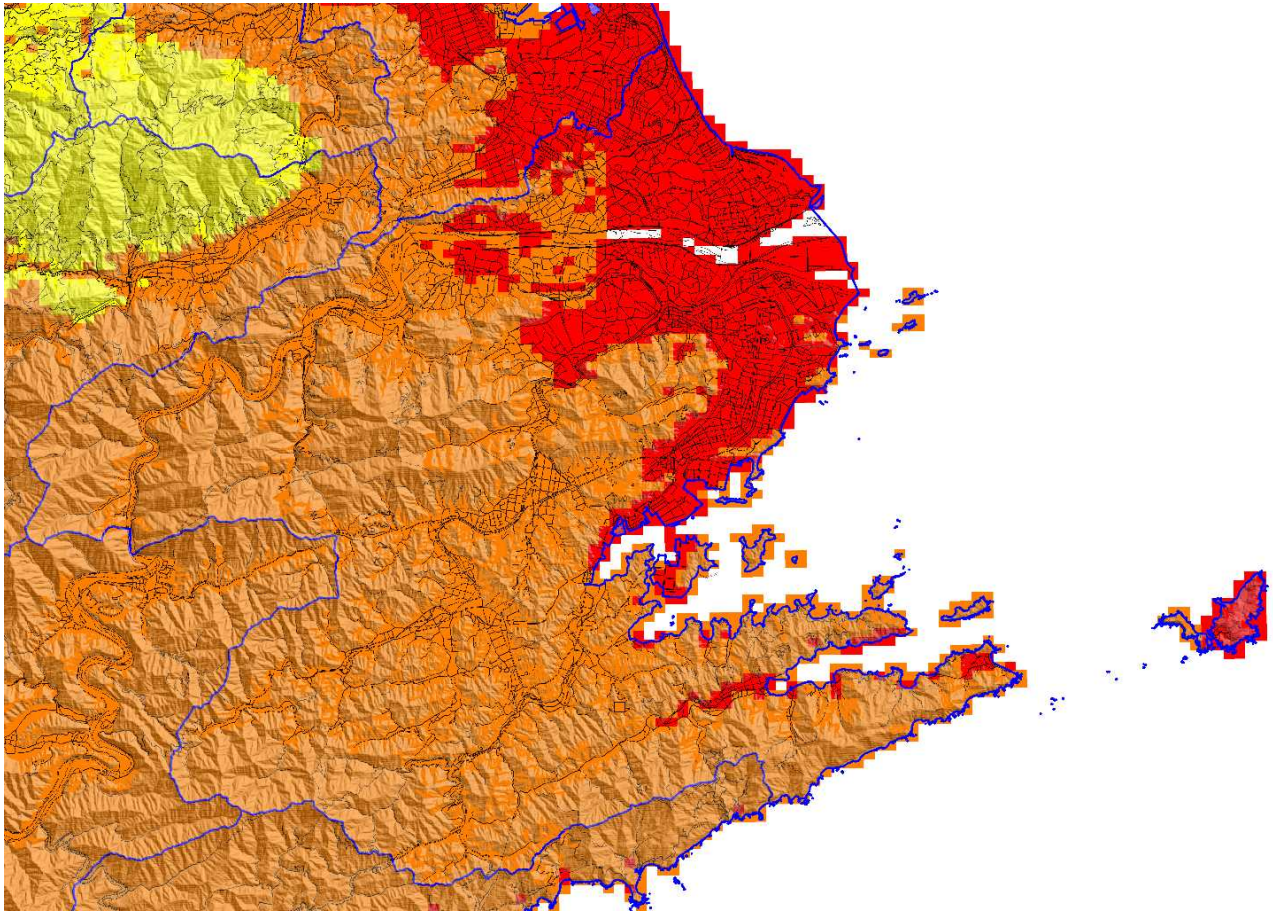


図１　阿南市における震度分布図

内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会」による検討ケースの内、各所で基盤地震動が最大となるケースを用い、徳島県の表層地盤モデルにより算出。徳島県内における震度分布の広がりを表すものとして、県内を 250m メッシュに区分した平均的な地盤データに基づき推計したものである。同一の震度と表されている区域の中でも、地質の条件により、異なる震度となる場合もある。

（2）液状化危険度分布図

震度分布図とともに、徳島県が公表した液状化危険度分布図では、阿南市の平野部ほぼ全域で液状化危険度が極めて高い結果となっている。

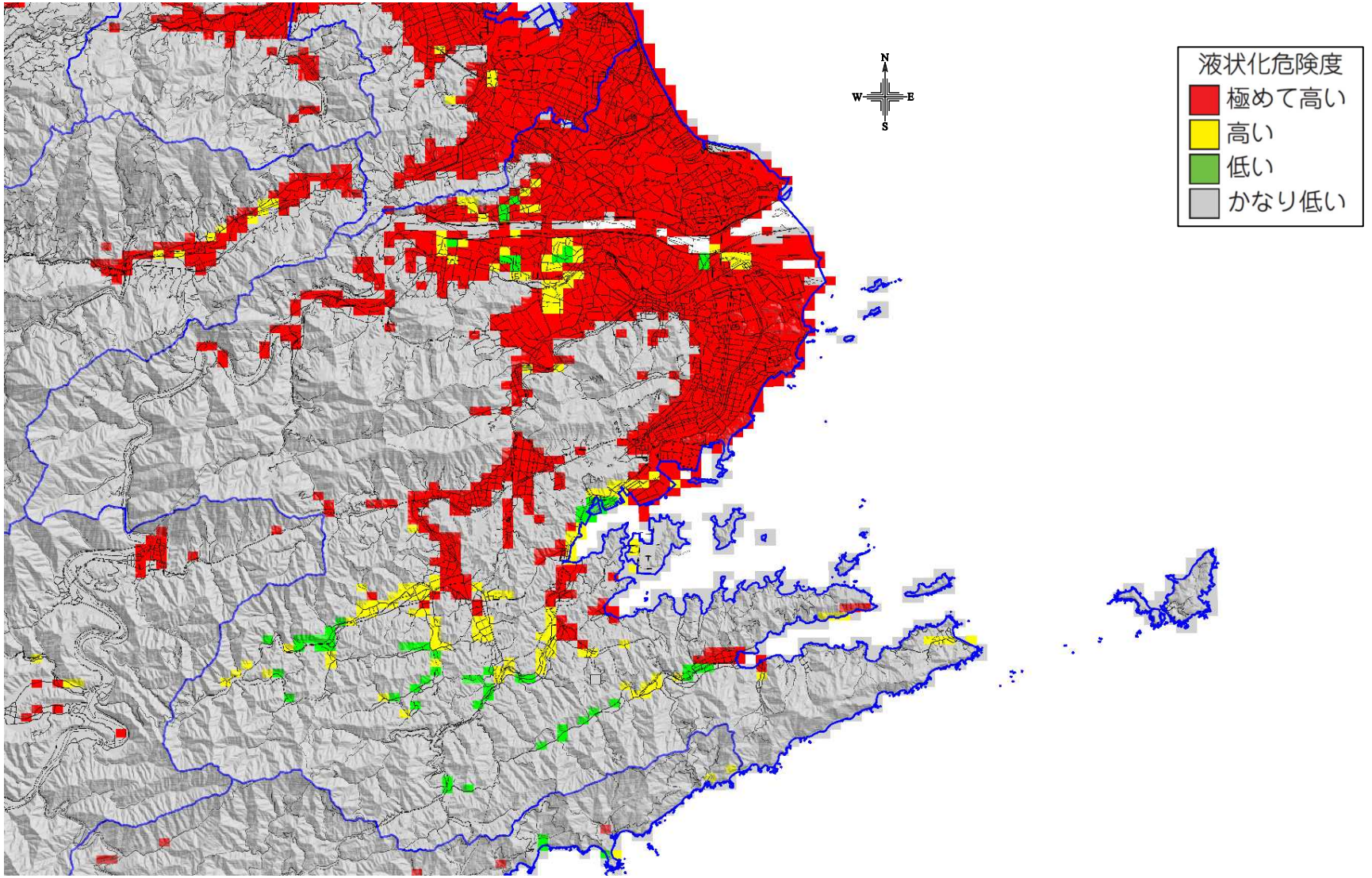


図２　阿南市における液状化危険度分布図

内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会」による検討ケースの内、各所で基盤地震動が最大となるケースを用い、徳島県の表層地盤モデルにより算出。徳島県内における液状化の傾向を表すものとして、県内を 250m メッシュに分割した平均的な地盤データに基づき液状化を判定したものである。既に個別で実施された液状化対策を考慮していないため、液状化危険度が高いとされた区域においても、液状化の危険が低い箇所もある。一方、液状化危険度が低いとされた区域においても、ため池等を埋め立てたような箇所では液状化の可能性が高くなる。

（3）津波浸水想定

平成２４年１０月３１日に徳島県が公表した「徳島県津波浸水想定」による阿南市における津波浸水想定区域及び浸水深は、以下のとおりである。

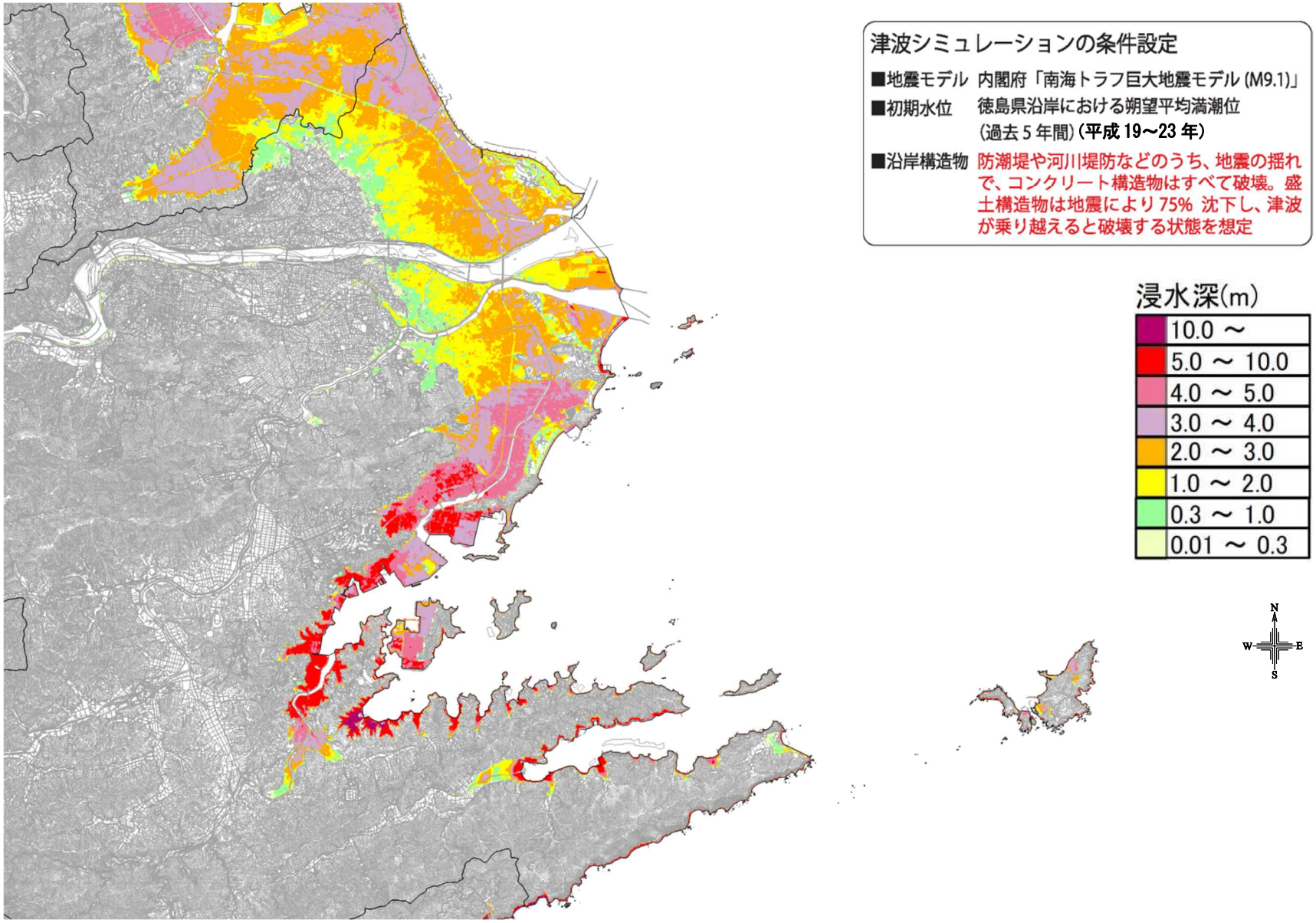
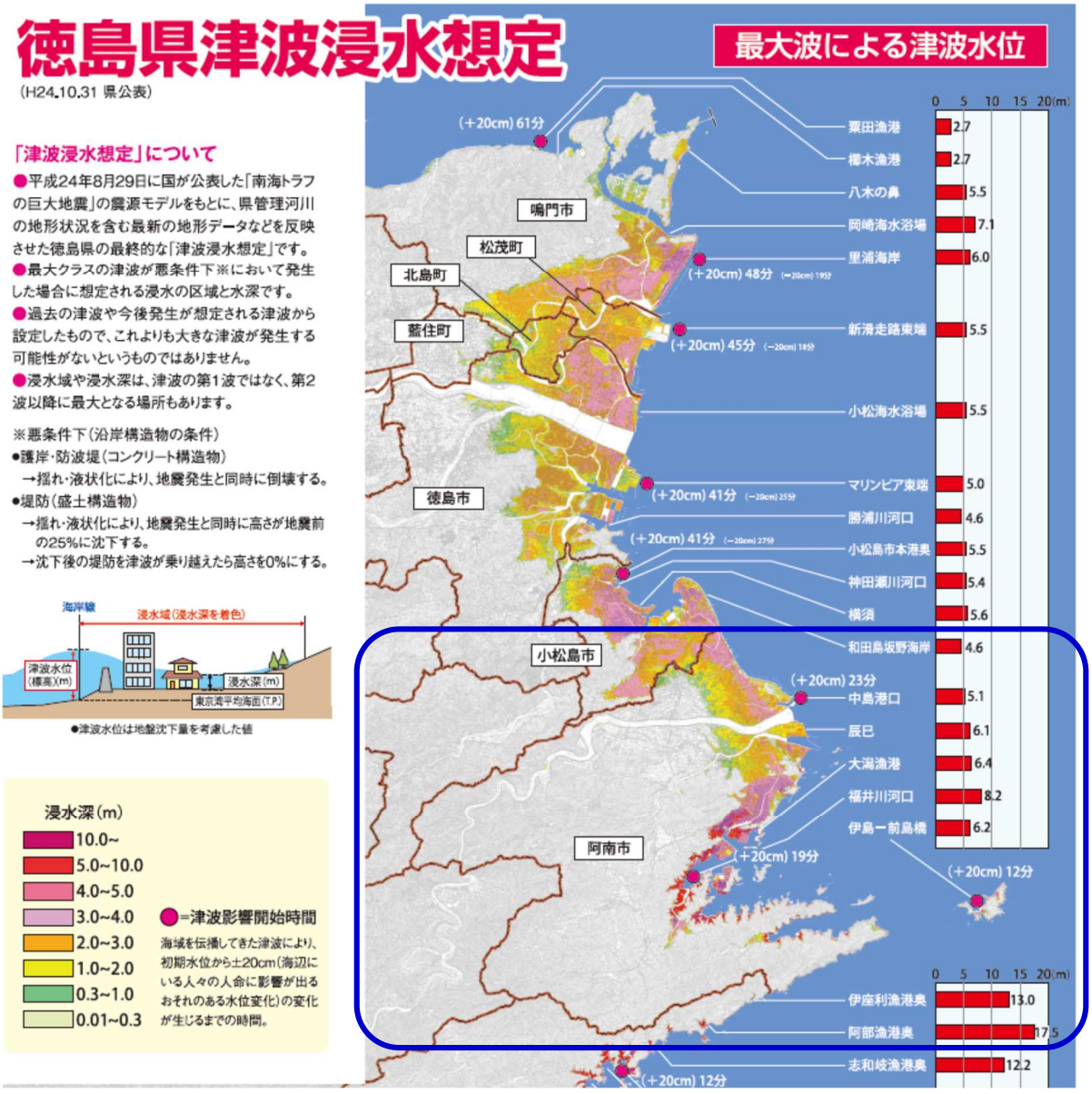


図３　阿南市における津波浸水想定区域図

（５）沿岸域における津波水位と津波影響開始時間

阿南市沿岸域の最大波による津波水位は、8.2～5.1ｍ（標高）で、初期水位から２０cm 水位が上昇する時間（海辺にいる人々の人命に影響が出るおそれのある水位変化が生じるまでの時間）は、伊島で１２分、福井川河口で 19 分、中島港口で 23 分と想定されている。さらに、表１によると２０cm 水位が上昇して後まもなく１ｍ水位上昇、2m水位上昇していることがわかる。



「明日、起こるかもしれない！南海トラフ巨大地震（徳島県防災人材育成センター、平成 26 年３月）」から抜粋・加筆

図４　沿岸域における最大波による津波水位と津波影響開始時間

表１　沿岸域における津波の想定結果（図４のうち、詳細公表値のみ記載）

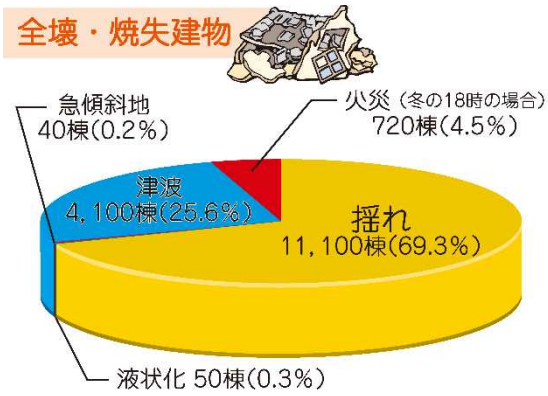
	津波影響開始時間		１m津波到達時間		２m津波到達時間		最大津波	
阿南市伊島	到達時間（分）	津波高（cm）	到達時間（分）	津波高（cm）	到達時間（分）	津波高（cm）	到達時間（分）	津波高（標高 m）
	12	初期水位+20	17	初期水位+100	20	初期水位+200	98	6.2
阿南市福井川河口	到達時間（分）	津波高（cm）	到達時間（分）	津波高（cm）	到達時間（分）	津波高（cm）	到達時間（分）	津波高（標高 m）
	19	初期水位+20	34	初期水位+100	36	初期水位+200	97	8.2
阿南市中島港口	到達時間（分）	津波高（cm）	到達時間（分）	津波高（cm）	到達時間（分）	津波高（cm）	到達時間（分）	津波高（標高 m）
	23	初期水位+20	29	初期水位+100	32	初期水位+200	139	5.1

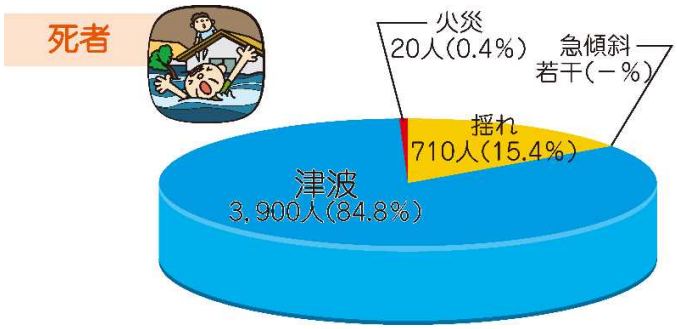
（６）被害想定

平成２５年７月３１日に徳島県が公表した「徳島県南海トラフ巨大地震被害想定（第一次）」及び平成２５年１１月２５日に徳島県が公表した「徳島県南海トラフ巨大地震被害想定（第二次）」による被害想定は以下のとおりとなっている。

ここで、地震発生時間の想定ケースは、「冬の深夜」（人的被害が最大のケース）、「夏の１２時」（職場等多くの人々が自宅から離れている）、「冬の１８時」（火災の発生が多く建物被害が最大のケース）の３種を想定している。

阿南市では以下のように甚大な建物・人的被害が想定されており、また、電力等のライフラインの復旧に長期間を要することが想定されている。





１）建物被害

(ア) 建物全壊・焼失棟数

（単位：棟）

全棟数	揺れ	液状化	急傾斜地	津波	火災	合計
28,208	11,100	50	40	4,100	720	16,000

注１：火災は冬１８時を想定
注２：端数処理により合計値と異なることがある。

(イ) 建物半壊棟数

（単位：棟）

全棟数	揺れ	液状化	急傾斜地	津波	火災	合計
28,208	4,700	850	60	2,100	-	7,700

注１：火災は冬１８時を想定　　（-：若干数）
注２：端数処理により合計値と異なることがある。

２）人的被害

(ア) 死者数

（単位：人）

想定ケース	人口	揺れ（うち家具転倒）	急傾斜	津波（うち自力脱出困難者）	火災	ブロック塀・自動販売機転倒、屋外落下物	計
冬深夜	76,063	710 (70)	-	3,900 (1,800)	20	0	4,600
夏12時	76,182	440 (40)	-	3,900 (1,300)	40	-	4,400
冬18時	76,134	520 (40)	-	3,500 (1,400)	60	-	4,100

注：端数処理により合計値と異なることがある。　　（-：若干名）

（イ）負傷者数

（単位：人）

想定ケース	人口	揺れ（うち家具転倒）	急傾斜	津波	火災	ブロック塀・自動販売機転倒、屋外落下物	計
冬深夜	76,063	2,700 (1,000)	-	-	30	0	2,700
夏12時	76,182	2,100 (640)	-	-	60	80	2,200
冬18時	76,134	2,000 (670)	-	-	80	160	2,300

注：端数処理により合計値と異なることがある。　　（-：若干名）

3）ライフライン被害

（ア）上水道

	給水人口（人）	復旧対象給水人口（人）	直後		1日後		1週間後		1ヶ月後		津波全壊人口（人）
			断水率（%）	断水人口（人）	断水率（%）	断水人口（人）	断水率（%）	断水人口（人）	断水率（%）	断水人口（人）	
阿南市	75,400	64,600	98	73,700	86	64,500	69	52,300	25	18,600	10,800
県合計	749,300	633,900	92	689,000	73	547,700	56	417,800	22	165,500	115,400

注1：断水率＝（管路・浄水場等被害による断水人口＋津波全壊による断水人口）／全給水人口
注2：復旧対象給水人口は、津波浸水により建物全壊した需要家数に相当する人口を除く
注3：端数処理により合計値と異なることがある。

（イ）下水道

	処理人口（人）	復旧対象処理人口（人）	直後		1日後		1週間後		1ヶ月後		津波全壊人口（人）
			支障率（%）	支障人口（人）	支障率（%）	支障人口（人）	支障率（%）	支障人口（人）	支障率（%）	支障人口（人）	
阿南市	1,900	1,600	100	1,900	100	1,900	26	490	0	0	270
県合計	128,000	107,700	79	101,500	79	101,500	26	33,500	1	1,300	20,300

注1：支障率（直後～1週間後）＝（管路・処理場被害による支障人口＋津波全壊による支障人口）／全処理人口
注2：支障率（1ヶ月後）＝管路・処理場被害による支障人口／全処理人口
注3：復旧対象処理人口は、津波浸水により建物全壊した需要家数に相当する人口を除く。
注4：端数処理により合計値と異なることがある。

（ウ）電力

	電灯軒数（軒）	復旧対象電灯軒数（軒）	直後		1日後		4日後		1週間後		津波全壊電灯軒数（軒）
			停電率（%）	停電軒数（軒）	停電率（%）	停電軒数（軒）	停電率（%）	停電軒数（軒）	停電率（%）	停電軒数（軒）	
阿南市	37,700	32,300	100	37,700	84	31,500	-	-	-	-	5,400
県合計	415,300	351,900	98	408,900	72	300,400	47	197,000	38	159,300	63,400

注1：停電率（直後・1日後）＝（需給バランス等に起因した停電軒数＋津内全壊による停電軒数）／全電灯軒数
注2：停電率（4日後・1週間後）＝（電線等被害に基づく停電軒数＋津波全壊による停電軒数）／全電灯軒数
注3：復旧対象電灯軒数は、津波浸水により建物全壊した需要家数に相当する電灯軒数を除く。
注4：端数処理により合計値と異なることがある。

（エ）通信（固定電話）

	回線数（回線）	復旧対象回線数（回線）	直後		1日後		1週間後		1ヶ月後		津波全壊回線数（回線）
			不通率（%）	不通回線数（回線）	不通率（%）	不通回線数（回線）	不通率（%）	不通回線数（回線）	不通率（%）	不通回線数（回線）	
阿南市	21,000	18,000	100	21,000	89	18,800	-	-	-	-	3,000
県合計	215,800	184,600	98	212,500	75	162,000	34	73,300	14	31,200	31,200

注1：不通率（直後・1日後）＝（停電に起因した不通回線数又は電線等被害による不通回線数＋津波全壊による不通回線数）／全回線数
注2：不通率（1週間後・1ヶ月後）＝（電線等被害による不通回線数＋津波全壊による不通回線数）／全回線数
注3：復旧対象回線数は、津波浸水により建物全壊した需要家に相当する回線数を除く。
注4：端数処理により合計値と異なることがある。

(オ) 通信（携帯電話）

東日本大震災では、発災直後は基地局等の倒壊・流失などによる停波基地局が相当数発生し、１日後にはバッテリーや自家用発電機の燃料等の枯渇により停波する基地局がさらに増加した。その後、電力の復旧や各事業者の迅速な復旧作業により、１ヶ月半程度で一部のエリアを除き復旧がされた。本県においても、南海トラフ巨大地震が発生すると、通信インフラ等の被災や混雑により電話の繋がりにくい状況が発生、各事業者による通信規制により、発災直後から非常に繋がりにくい状況となることが想定される。

(カ) ガス（ＬＰガス）

「東日本大震災を踏まえた今後のＬＰガス安定供給の在り方に関する調査　報告書」によれば、ＬＰガス基地が津波浸水等の様々な要因により、10 箇所で出荷停止を余儀なくされた。それに対しては、代替基地からの振替出荷、国家備蓄からの放出等の対策が講じられたが、卸売・小売の段階でも、タンクローリーの不足、充填所・販売店の被災、燃料不足、人手不足等の様々な復旧作業の支障となる事象が発生した。被災三県におけるＬＰガスの復旧状況については、大規模な余震が発生し、都度点検を実施して供給を再開しなければならない状況が繰り返されたが、３月 11 日に発生した大震災に対する復旧は概ね４月上旬、全体の復旧は４月 21 日（当面復旧可能な世帯に対して）である。発災当日はガスボンベ等の安全装置によって、自動的にほぼ全ての世帯において、供給が一旦止まったとみられ、その後順次点検を実施しながら供給が再開された。本県においても、南海トラフ巨大地震が発生すると、発災直後においては、ガスボンベ等の安全装置により、自動的にほぼ全ての世帯において、供給が一旦停止し、その後、順次点検を実施したところから供給が開始されるが、大きな揺れと津波によるＬＰガス基地・充填所等の被災、輸送力不足、点検作業を実施する事業者の被災などから、すべての復旧対象世帯において供給が開始されるには１ヶ月程度を要すると想定される。

(キ) 道路施設

	津波浸水域		津波浸水域外		総延長（km）	被害箇所数（箇所）
	延長（km）	被害箇所数（箇所）	延長（km）	被害箇所数（箇所）		
全路線	3,250	690	11,760	940	15,020	1,600

注：端数処理により合計値と異なることがある。

(ク) 鉄道施設

	津波浸水域		津波浸水域外		総延長（km）	被害
	延長（km）	被害箇所数（箇所）	延長（km）	被害箇所数（箇所）		被害箇所数（箇所）
牟岐線	38	70	42	120	79	190
全体	57	110	172	430	229	550

注：端数処理により合計値と異なることがある。

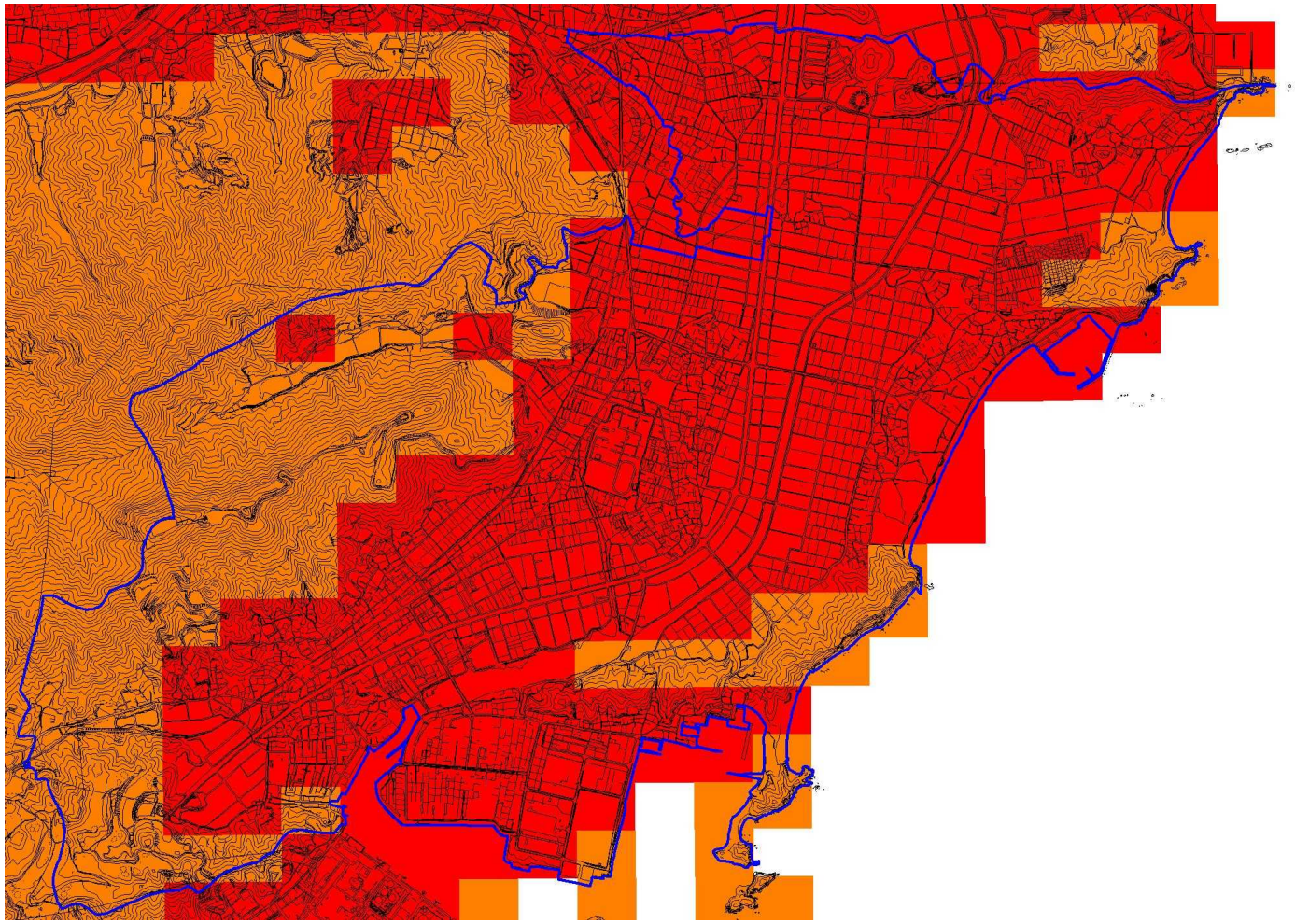
※徳島県南海トラフ巨大地震被害想定（第一次、第二次）より抜粋

2　見能林地区の被害想定等

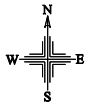
見能林地区における被害想定に係る予測図を、先に示した阿南市全体図から抽出し以下に示す。

（1）震度分布図

見能林地区の大部分が震度７、一部地域では震度６強となっており、地区全域で大きな揺れが想定されている。



※気象庁震度階級関連解説表より



地区境界

図５　震度分布図

内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会」による検討ケースの内、各所で基盤地震動が最大となるケースを用い、徳島県の表層地盤モデルにより算出。徳島県内における震度分布の広がりを表すものとして、県内を 250m メッシュに区分した平均的な地盤データに基づき推計したものである。同一の震度と表されている区域の中でも、地質の条件により、異なる震度となる場合もある。

（３）液状化危険度分布図

見能林地区の大部分で液状化危険度が極めて高くなっており、地面から水があふれ出し道路が水浸しになったり、電柱が倒れたり、建物が傾いてしまうなどの被害が生じる場合もある。本想定においては、大潟町の一部で液状化危険度が「かなり低い」となっているが、第３章で後述する通り、盛土地・埋立地となっているため液状化の危険性は極めて高いと考えられるため注意が必要である。

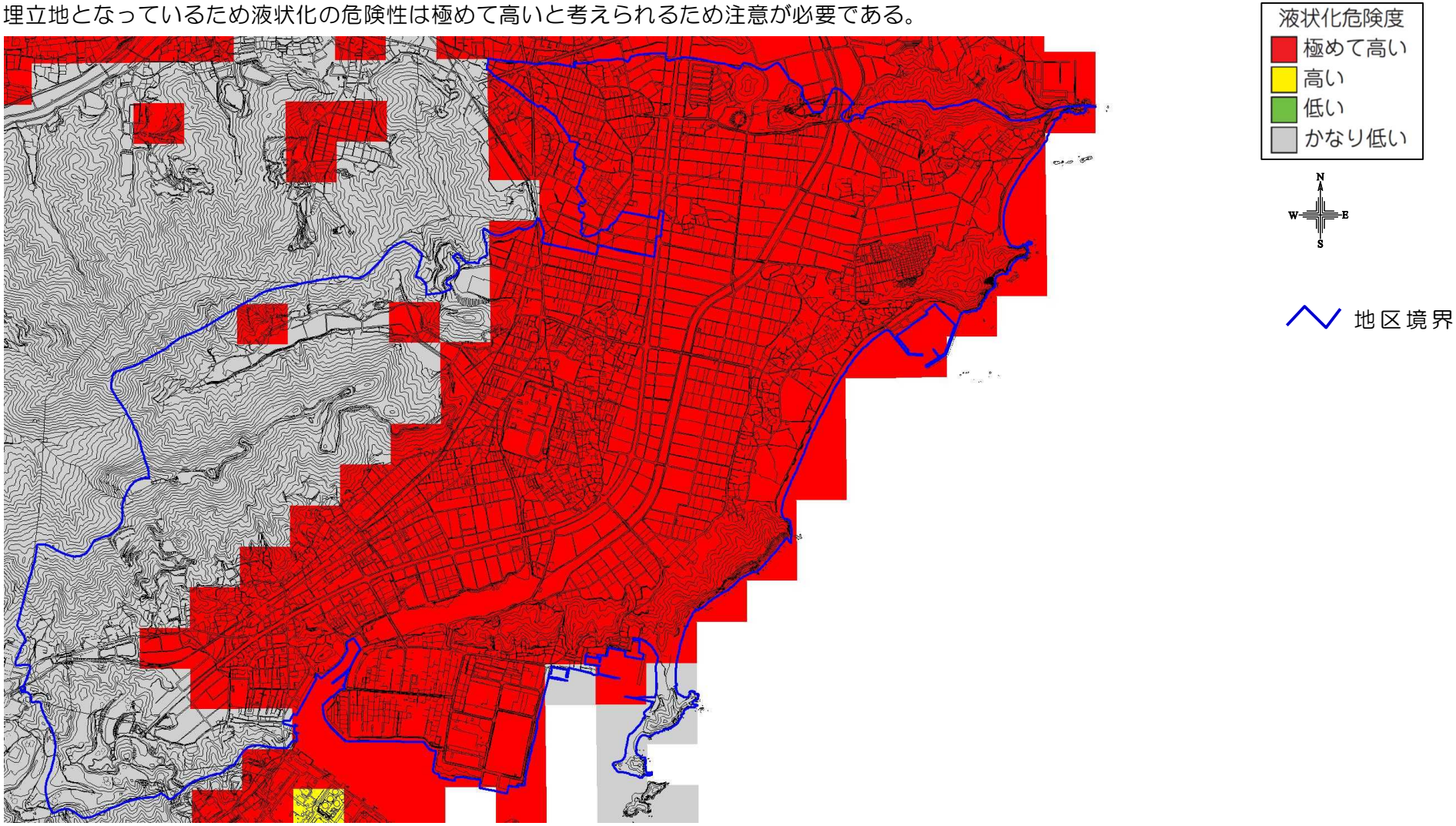


図６　液状化危険度分布図

内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会」による検討ケースの内、各所で基盤地震動が最大となるケースを用い、徳島県の表層地盤モデルにより算出。徳島県内における液状化の傾向を表すものとして、県内を 250m メッシュに分割した平均的な地盤データに基づき液状化を判定したものである。既に個別で実施された液状化対策を考慮していないため、液状化危険度が高いとされた区域においても、液状化の危険が低い箇所もある。一方、液状化危険度が低いとされた区域においても、ため池等を埋め立てたような箇所では液状化の可能性が高くなる。

（４）津波浸水想定

見能林地区南部の一部地域では浸水深が 5.0m 以上と深くなり、打樋川周辺の地域も 4.0～5.0m の浸水深と比較的高くなっている。国道５５号及び県道１３０号大林津乃峰線沿いの地域も 3.0～5.0m の浸水深となっている。一方で、中林町では比較的標高の高い地域が浸水しない想定となっている。

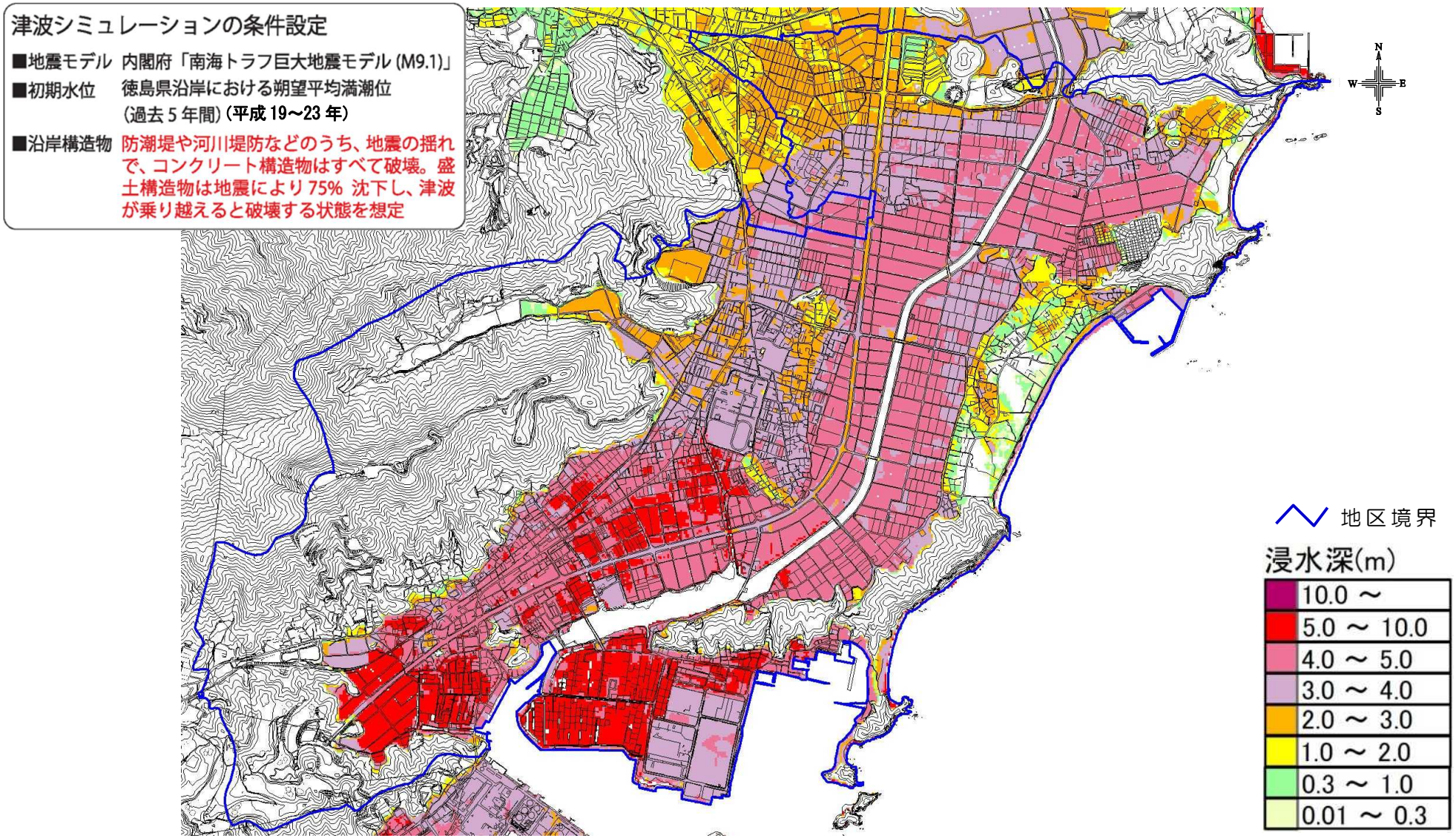
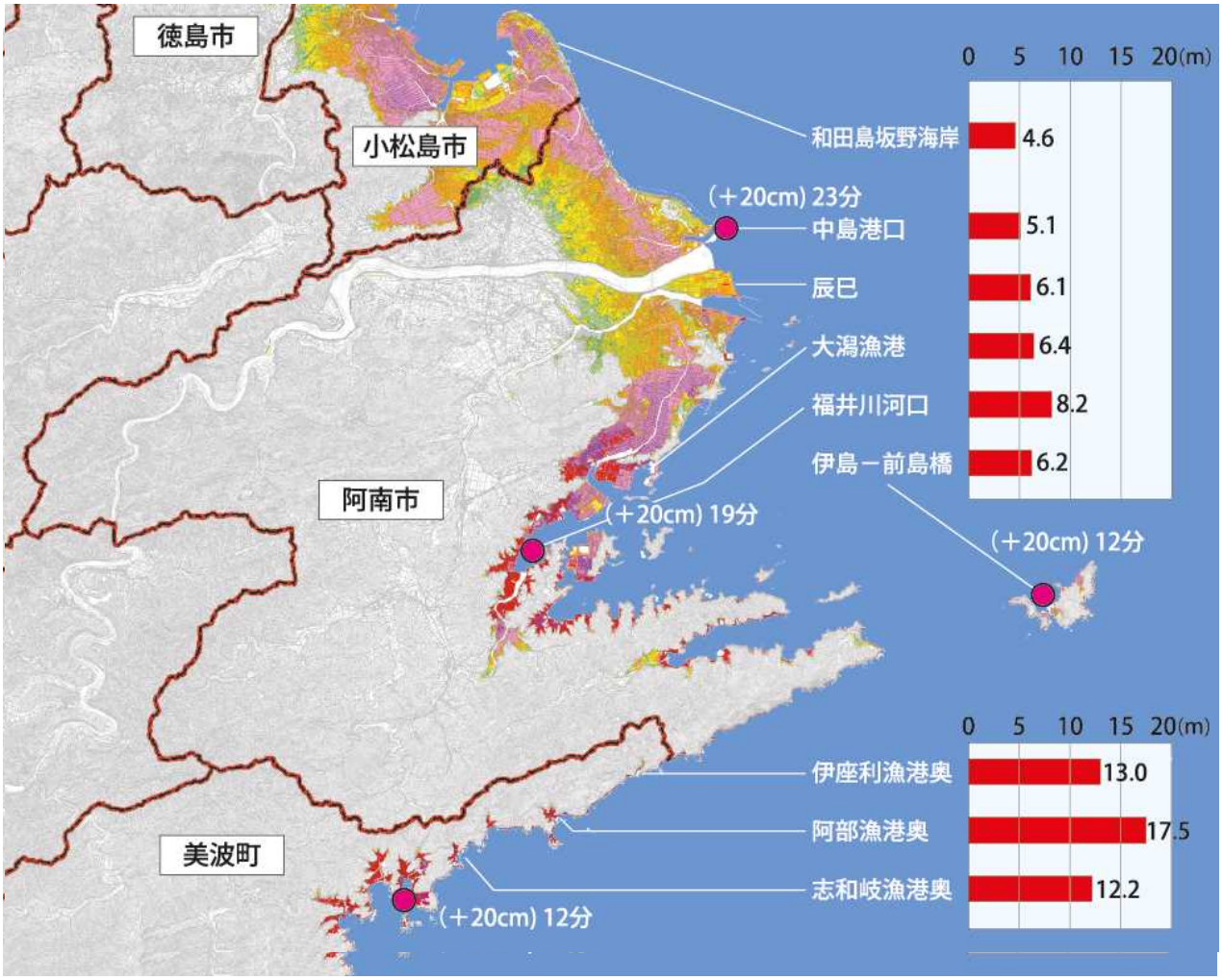


図７　津波浸水想定区域及び浸水深

（５）最大波による津波水位と津波影響開始時間

「徳島県津波浸水想定」によると、那賀川地区の沿岸部に位置する中島港口では最大波による津波水位は 5.1ｍ（標高）、初期水位から 20ｃｍ水位が上昇する時間（海辺にいる人々の人命に影響が出るおそれのある水位変化が生じるまでの時間）は 23 分となっている。

内陸部における津波到達予想時間については、『第３章　見能林地区の津波避難対策　５ 津波避難シミュレーションの（３）３）』で整理する。



※徳島県津波浸水想定公表資料より

「明日、起こるかもしれない！南海トラフ巨大地震（徳島県防災人材育成センター、平成２６年３月）」から抜粋

図８　最大波による津波水位と津波影響開始時間

第３章　見能林地区の津波避難対策

１　地形、地質的な特徴

見能林地区は、南部は橘湾、東部は紀伊水道に面し、内部には打樋川が流れる地域である。図９に示す標高地形図では、地区の中央部を流れる打樋川周辺は特に土地が低く、標高１ｍ未満の地域が広がっている。一方、東部及び西部には標高２～４ｍの地域が広がっており、一部は山地となっている。

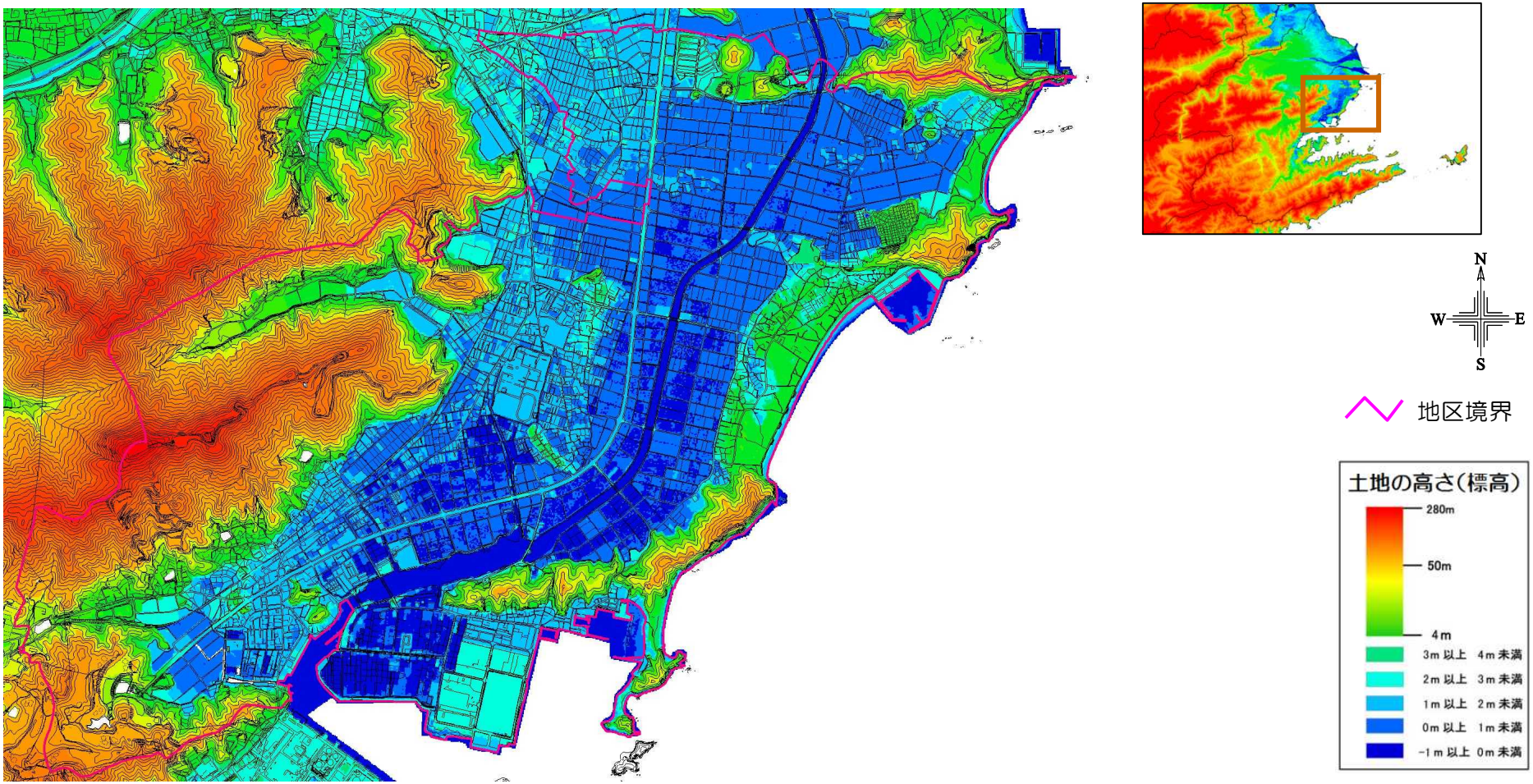
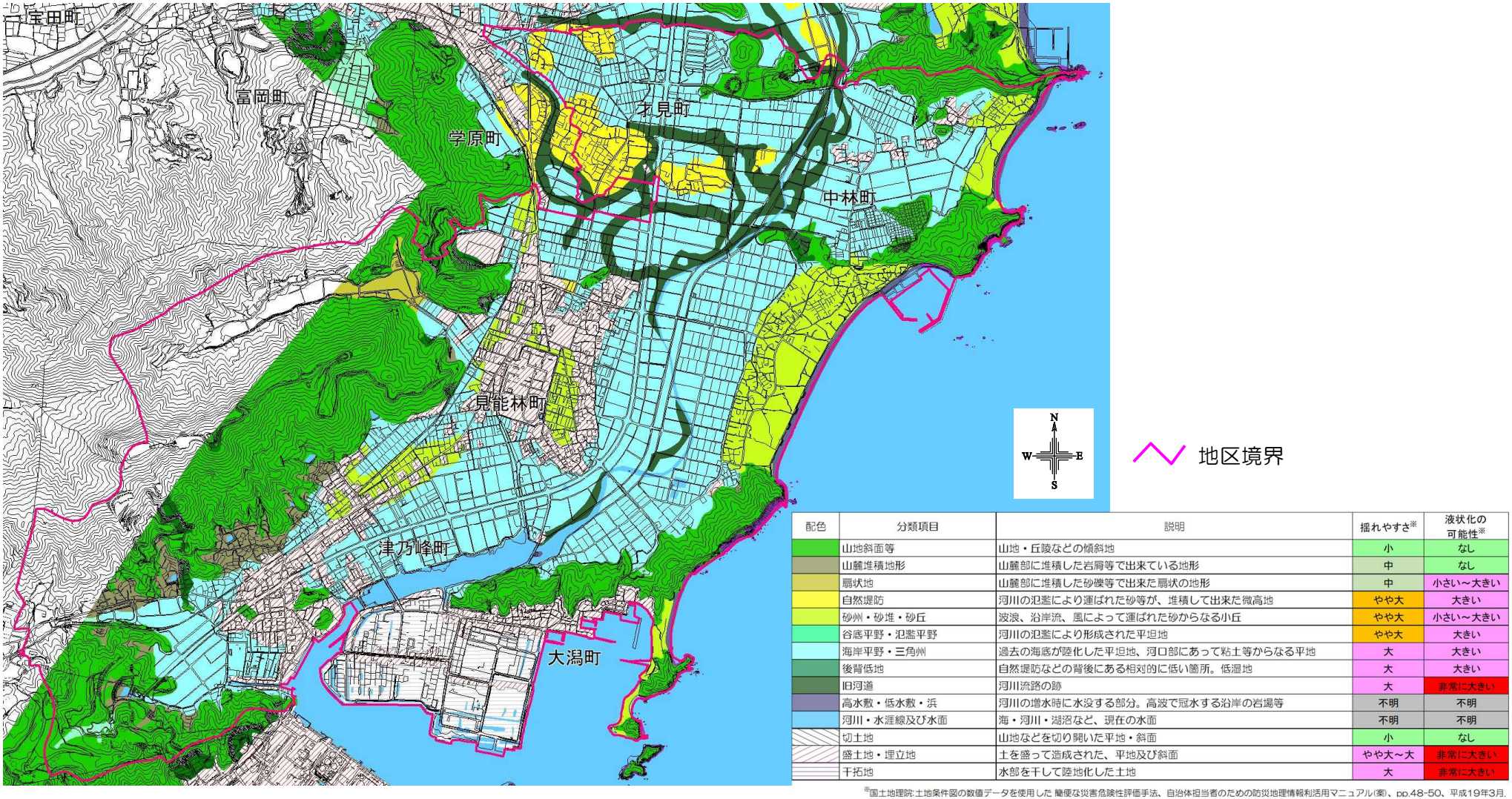


図９　標高地形図

図１０の土地条件図に示すように、平野部の大半が海岸平野・三角州（揺れやすさ：大、液状化：大きい）が広がっている。住宅密集地も盛土地・埋立地（揺れやすさ：やや大～大、液状化：非常に大きい）であり、揺れやすく液状化の可能性が高い地域が広がっている。また、打樋川周辺は旧河道が蛇行しており、液状化の危険性は非常に大きい。



配色	分類項目	説明	揺れやすさ※	液状化の可能性※
	山地斜面等	山地・丘陵などの傾斜地	小	なし
	山麓堆積地形	山麓部に堆積した岩屑等で出来ている地形	中	なし
	扇状地	山麓部に堆積した砂礫等で出来た扇状の地形	中	小さい～大きい
	自然堤防	河川の氾濫により運ばれた砂等が、堆積して出来た微高地	やや大	大きい
	砂州・砂堆・砂丘	波浪、沿岸流、風によって運ばれた砂からなる小丘	やや大	小さい～大きい
	谷底平野・氾濫平野	河川の氾濫により形成された平坦地	やや大	大きい
	海岸平野・三角州	過去の海底が陸化した平坦地、河口部にあって粘土等からなる平地	大	大きい
	後背低地	自然堤防などの背後にある相対的に低い箇所。低湿地	大	大きい
	旧河道	河川流路の跡	大	非常に大きい
	高水敷・低水敷・浜	河川の増水時に水没する部分。高波で冠水する沿岸の岩場等	不明	不明
	河川・水涯線及び水面	海・河川・湖沼など、現在の水面	不明	不明
	切土地	山地などを切り開いた平地・斜面	小	なし
	盛土地・埋立地	土を盛って造成された、平地及び斜面	やや大～大	非常に大きい
	干拓地	水部を干して陸地化した土地	大	非常に大きい

※国土地理院:土地条件図の数値データを使用した 簡便な災害危険性評価手法、自治体担当者のための防災地理情報利活用マニュアル(案)、pp.48-50、平成19年3月.

図１０　土地条件図

２　社会環境

見能林地区は総人口が 10,287 人（住民基本台帳、令和２年３月３１日現在）であり、そのうち６５歳以上となる高齢者数は 3,133 人（30.5%）である。また、避難行動要支援者に該当する方（災害発生時の避難等に特に支援を要する方。避難行動要支援者の範囲は図１１を参照。）については、令和２年４月１日現在で 603 人となっており、地域人口の 5.9%となっている。

避難行動要支援者の避難時の個別計画※は、今後策定を進めていくこととなっているため、本計画では避難行動要支援者名簿の登録者数の計上のみとした。

※要支援者からの名簿情報の提供の同意により、要支援者と支援者をマッチングし、避難支援者情報、避難場所等の情報を記入

表２　見能林地区の人口構成（令和２年３月３１日現在）

年齢（歳）	総人口（人）			男性人口（人）	女性人口（人）
0～	448	4.4%	12.7%	209	239
6～	573	5.6%		275	298
１２～	290	2.8%		145	145
１５～	567	5.5%	56.8%	312	255
２０～	5,276	51.3%		2,659	2,617
６５～	1,514	14.7%	30.5%	727	787
７５～	1,619	15.7%		652	967
計	10,287	－		4,979	5,308

以下のいずれかに該当する方を避難行動要支援者とする。また、施設入所者は対象外とする。

ア）７５歳以上の一人暮らし及び７５歳以上の高齢者のみの世帯の者
イ）要介護状態区分が要介護３から５の認定を受けている者
ウ）身体障害者手帳１級又は２級の視覚障がい、聴覚・言語障がい、肢体不自由の者
エ）療育手帳Ａ１又はＡ２を所持する者
オ）精神障害者保健福祉手帳１級を所持する者
カ）難病患者（次のいずれかの要件を満たす方）
- 小児慢性特定疾病
- 「重症患者」及び「高額かつ長期」該当者
- 障害者総合福祉支援法上の障害福祉サービスを受けている難病患者

キ）上記以外で市長が支援をする必要があると認めた者

図１１　避難行動要支援者の範囲（阿南市地域防災計画（地震対策編）より抜粋）

表３　避難行動要支援者数（避難行動要支援者名簿掲載者数．令和２年４月１日現在）

避難行動要支援者数	人口		合計
該当しない方	9,684	94.1%	10,287
該当する方	603	5.9%	

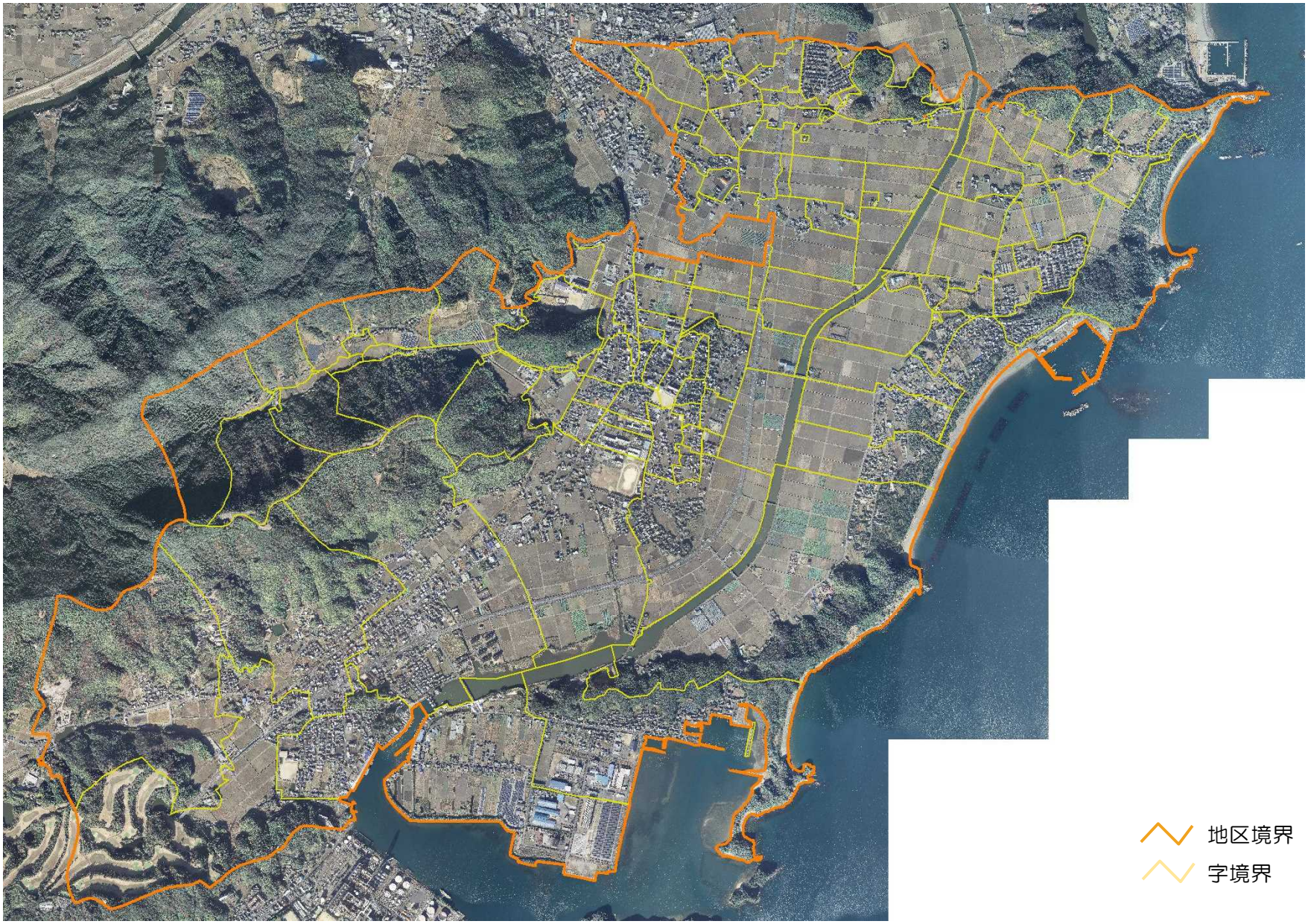


図１２　見能林地区の航空写真

※阿南市航空写真（平成 28 年 12 月～平成 29 年３月撮影）

３　避難対象地域の設定

津波災害警戒区域（先に示した津波浸水想定区域に基づく）を基本として設定している。見能林地区の大部分が避難対象地域となり、いち早く津波から避難する必要がある。

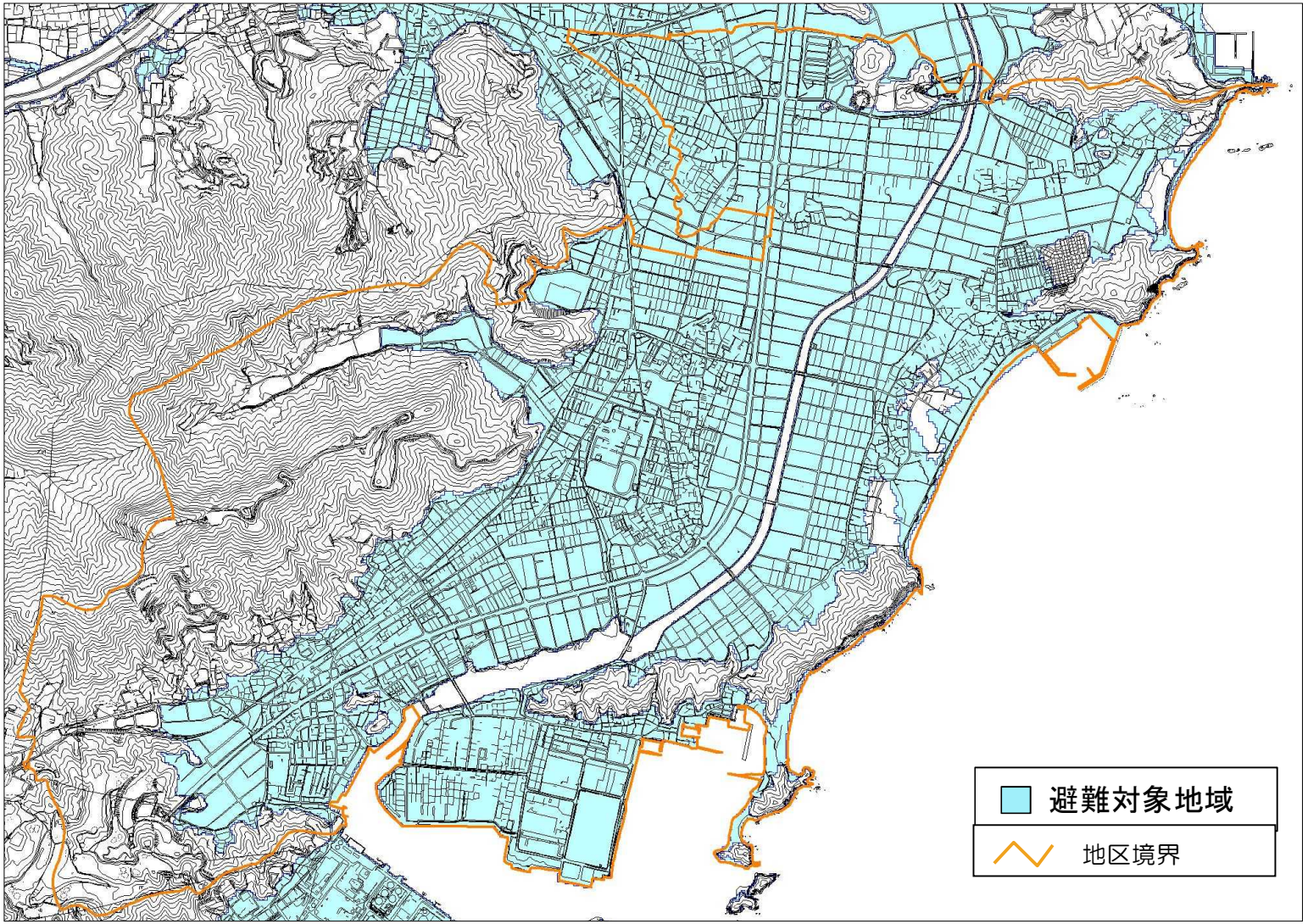


図１３　避難対象地域

４　津波時の避難先の設定

表４～７に示す見能林地区の避難目標地点、市指定津波避難場所、緊急避難場所、津波避難ビルを、想定する津波から避難する「津波時の避難先」とする。なお、各避難先の要件は、以下の項目を満たすものとする。

表８～２２に、各避難先等の位置図（避難経路）、写真及び諸元を示す。

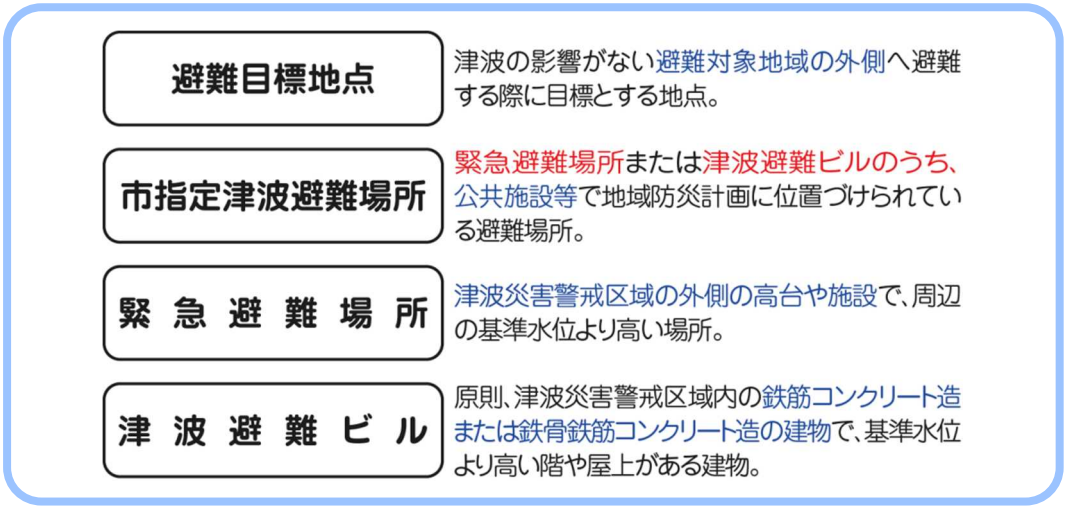


表４　避難目標地点一覧表

避難先名称	所在地	利用できる場所	備考
見能林町西部避難エリア	見能林町	避難対象地域外	
旭越山地区避難エリア	才見町旭越山	(株)岡部機械工業才見工場、森田技研工業(株)を含む避難対象地域外	
中林町避難エリア	中林町	避難対象地域外	
八大神社周辺避難エリア	津乃峰町東分	湯ノ木谷（西１、２）、八大神社、日本電工（株）社宅跡地、津乃峰登山口を含む避難対象地域外	
戎山地区周辺避難エリア	津乃峰町戎山	B&G財団阿南海洋センター裏山、塩竈神社、坂野氏宅裏山、えびすの丘、蛭子神社裏山を含む避難対象地域外	
大山神社周辺避難エリア	津乃峰町戎山	大山神社頂上部、大山神社を含む避難対象地域外	
津乃峰地区防災公園周辺避難エリア	津乃峰町西分	地蔵寺、津乃峰地区防災公園を含む避難対象地域外	

※避難目標地点の収容可能人数は、津波浸水想定区域外のため制限を設けない

表５　緊急避難場所一覧表（1/2）

避難先名称	所在地	利用できる場所	収容可能人数（人）	備考
東部自然公園散策路	才見町旭越山	散策路	223	市指定
津乃峰地区防災公園	津乃峰町西分	高台部分	4,500 ＊	市指定
山崎喜代治氏所有墓地裏山	才見町旭越山	高台部分	69	
中山峯男氏宅裏山	才見町旭越山	高台部分	299	
篠原賢治氏宅裏山	才見町旭越山	高台部分	13	
森田技研工業（株）	才見町旭越山68	駐車場	638 ＊	
(株)岡部機械工業才見工場	才見町旭越山12-1	駐車場	861 ＊	
四国電力（株） 辰巳線No.１２鉄塔の山	才見町旭越山	高台部分	76	
落雷神社境内	才見町落雷前	高台部分	149	

＊：津波浸水想定区域外のため収容人数に制限を設けない

表６　緊急避難場所一覧表（2/2）

避難先名称	所在地	利用できる場所	収容可能人数（人）	備考
稲荷神社	中林町林崎56-2	高台部分	172	
弐社神社	中林町吉ケ内	高台部分	24	
天神	中林町東	高台部分	5	
カフェ・ラ・メール駐車場周辺	中林町東48-7	高台部分	326	
サンライズヒル第２公園	中林町サンライズヒル	公園内	87 ＊	
不動明王上部高台	中林町大浜	高台部分	51 ＊	
野神神社境内	中林町松ノ内	境内	111	
双葉会	見能林町南林260-3	1階以上の廊下、屋上	510	
はぐくみの家東側山	見能林町南林	高台部分	15	
南林北自主防避難場所	見能林町南林	高台部分	129	
見能方八幡神社	見能林町東浦51	高台部分	151	
お山保育園周辺	見能林町花谷56-2	高台部分	1,508	
三谷集会所前ゲートボール場	見能林町花谷	高台部分	509	
津峯スカイライン	見能林町築溜	料金所より高所	319	
馬越	見能林町南林	高台部分	108	
東坂	大潟町	高台部分	39 ＊	
大潟メモリアルパーク上広場	大潟町	高台部分	50	
諏訪神社	大潟町	高台部分	305 ＊	
妙見神社上広場	大潟町	高台部分	115 ＊	
天理教	大潟町	高台部分	651 ＊	
矢叡神社	大潟町	高台部分	111 ＊	
四宮光輝氏宅裏山	大潟町	高台部分	26 ＊	
長浜東１組避難所	津乃峰町長浜	高台部分	113 ＊	
四国電力（株） 長浜アパート裏山（長浜東２）	津乃峰町長浜	高台部分	58 ＊	
内古田氏旧宅裏山（長浜東３）	津乃峰町東分	高台部分	82 ＊	
藤枝弘文氏宅裏山	津乃峰町東分	高台部分	547	
湯ノ木谷（西１、２）	津乃峰町東分	高台部分	55 ＊	
八大神社	津乃峰町東分	高台部分	271 ＊	
日本電工（株）社宅跡地	津乃峰町東分	高台部分	501 ＊	
津乃峰登山口	津乃峰町東分	高台部分	89 ＊	
津乃峰台周辺	津乃峰町中分	高台部分	537	
地蔵寺	津乃峰町西分	高台部分	356 ＊	
両皇神社周辺	津乃峰町中分	高台部分	11	
B&G財団阿南海洋センター裏山	津乃峰町戎山	高台部分	43 ＊	
塩竈神社	津乃峰町戎山420-1	高台部分	100 ＊	
坂野氏宅裏山	津乃峰町戎山	高台部分	53 ＊	
えびすの丘	津乃峰町戎山	高台部分	32 ＊	
蛭子神社裏山	津乃峰町戎山	高台部分	41 ＊	
大山神社頂上部	津乃峰町戎山	高台部分	68 ＊	
大山神社	津乃峰町戎山	高台部分	39 ＊	
国道５５号バイパス 津乃峰新トンネル北鉄塔の山	津乃峰町西分	高台部分	116	
国道５５号バイパス 津乃峰新トンネル周辺	津乃峰町中分	高台部分	60	
古路神社周辺	津乃峰町中分	高台部分	90	
四国電力（株）阿南寮駐車場	津乃峰町中分	高台部分	907	
阿南公園八幡神社周辺	富岡町滝の下	高台部分	5,029	富岡地区

＊：津波浸水想定区域外のため収容人数に制限を設けない

表７　津波避難ビル一覧表

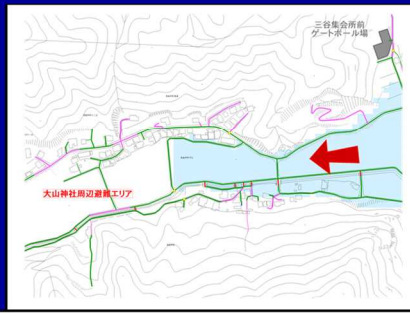
避難先名称	所在地	利用できる場所	収容可能人数（人）	備考
阿南中学校	見能林島南勘高1	校舎2階以上	3,782	市指定
		屋内運動場3階以上	1,250	
見能林公民館	見能林町念仏免4-1	２階	308	市指定
見能林小学校	見能林町西内35	２階以上	1,854	市指定
阿南工業高等専門学校	見能林町青木265	屋上	1,332	市指定
津乃峰小学校	津乃峰町戎山129-37	３階	665	市指定
津乃峰総合センター	津乃峰町長浜494	３階以上	470	市指定
津乃峰町新浜地区津波避難タワー	津乃峰町新浜	屋上	70	市指定
第三コーポ松橋	才見町石橋64-1	２階以上	53	
第三眉山マンション	見能林町大作半21-1	２階以上	63	
見能林アパート 北棟	見能林町九反ケ坪7-3	２階以上	258	
見能林アパート 南棟	見能林町九反ケ坪7-3	２階以上	258	
見能林ハイツ	見能林町志んじやく30-1	３階	6	
第二眉山マンションA棟	見能林町東石仏14	２階以上	72	
シティグレースほうしょう	見能林町志んじやく6-1	２階以上	200	
社会医療法人　杜のホスピタル	見能林町築溜1-1	２階・５階・屋上	961	
日亜 見能林社宅	見能林町青木261-1	３階以上	727	
グリーンピア津乃峰	津乃峰町長浜130-1	３階以上	150	
Ｔ＆Ｓマスダビル	津乃峰町中分2-3	３階	35	
阿南団地県営住宅１	津乃峰町長浜18	３階以上	54	
阿南団地県営住宅２	津乃峰町長浜18	３階以上	54	
阿南団地県営住宅３	津乃峰町長浜18	３階以上	72	
阿南団地県営住宅４	津乃峰町長浜18	３階以上	54	
阿南団地県営住宅５	津乃峰町長浜18	３階以上	54	
阿南団地県営住宅６	津乃峰町長浜18	３階以上	54	
阿波製紙（株） 阿南工場管理棟	津乃峰町新浜72-3	屋上	330	
スーパーホテル阿南・富岡	学原町深田9-1	２階以上	378	富岡地区

表８　避難目標地点（1/7）

見能林町西部避難エリア

所在地：見能林町平石、かご谷 等

避難対象地域外のため
収容可能人数を制限しない



利用できる場所
避難対象地域外

表９　避難目標地点（2/7）

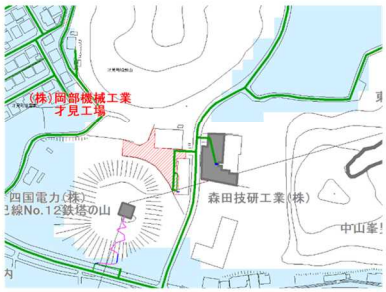
旭越山地区避難エリア	所在地：才見町旭越山	避難対象地域外のため 収容可能人数を制限しない
		利用できる場所 避難対象地域外
(株)岡部機械工業才見工場	**所在地：才見町旭越山12-1**	**収容可能人数：861人**
		利用できる場所 駐車場
森田技研工業（株）	**所在地：才見町旭越山68**	**収容可能人数：638人**
		利用できる場所 駐車場

表１０　避難目標地点（3/7）

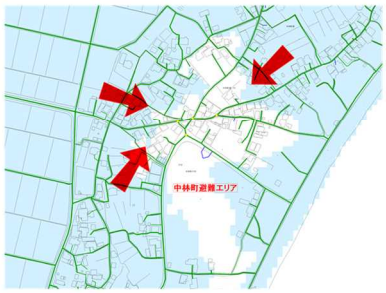
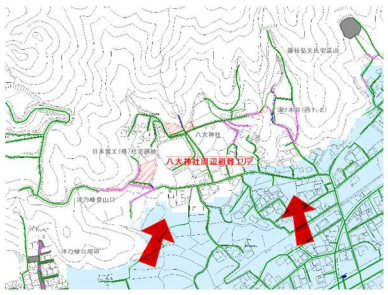
中林町避難エリア	所在地：中林町堤ノ内、大切 等	避難対象地域外のため 収容可能人数を制限しない
		利用できる場所 避難対象地域外

表１１　避難目標地点（4/7）

八大神社周辺避難エリア

所在地：津乃峰町東分

避難対象地域外のため
収容可能人数を制限しない



利用できる場所
避難対象地域外

湯ノ木谷（西１、２）

所在地：津乃峰町東分

収容可能人数：55人

利用できる場所
高台部分

八大神社

所在地：津乃峰町東分

収容可能人数：271人

利用できる場所
高台部分

日本電工（株）社宅跡地

所在地：津乃峰町東分

収容可能人数：501人

利用できる場所
高台部分

津乃峰登山口

所在地：津乃峰町東分

収容可能人数：89人

利用できる場所
高台部分

表１２　避難目標地点（5/7）

戎山地区周辺避難エリア

所在地：津乃峰町戎山

避難対象地域外のため
収容可能人数を制限しない

利用できる場所
避難対象地域外

B&G財団阿南海洋センター裏山

所在地：津乃峰町戎山

収容可能人数：43人

利用できる場所
高台部分

塩竈神社

所在地：津乃峰町戎山420-1

収容可能人数：100人

利用できる場所
高台部分

坂野氏宅裏山

所在地：津乃峰町戎山

収容可能人数：53人

利用できる場所
高台部分

えびすの丘

所在地：津乃峰町戎山

収容可能人数：32人

利用できる場所
高台部分

蛭子神社裏山	所在地：津乃峰町戎山	収容可能人数：41人
		利用できる場所 高台部分

表１３　避難目標地点（6/7）

大山神社周辺避難エリア	所在地：津乃峰町戎山	避難対象地域外のため 収容可能人数を制限しない
		利用できる場所 避難対象地域外
大山神社頂上部	**所在地：津乃峰町戎山**	**収容可能人数：68人**
		利用できる場所 高台部分
大山神社	**所在地：津乃峰町戎山**	**収容可能人数：39人**
		利用できる場所 高台部分

表１４　避難目標地点（7/7）

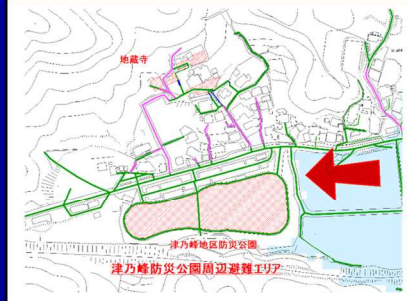
津乃峰地区防災公園 周辺避難エリア	所在地：津乃峰町西分	避難対象地域外のため 収容可能人数を制限しない
		利用できる場所 避難対象地域外
地蔵寺	所在地：津乃峰町西分	収容可能人数：356人
		利用できる場所 高台部分
津乃峰地区防災公園	所在地：津乃峰町西分	収容可能人数：4,500人
		利用できる場所 高台部分

表１５　緊急避難場所（1/8）

東部自然公園散策路

所在地：才見町旭越山

収容可能人数：223人

市指定

利用できる場所
散策路

山崎喜代治氏所有墓地裏山

所在地：才見町旭越山

収容可能人数：69人

利用できる場所
高台部分

中山峯男氏宅裏山

所在地：才見町旭越山

収容可能人数：299人

利用できる場所
高台部分

篠原賢治氏宅裏山

所在地：才見町旭越山

収容可能人数：13人

利用できる場所
高台部分

四国電力（株）辰巳線 No.１２鉄塔の山

所在地：才見町旭越山

収容可能人数：76人

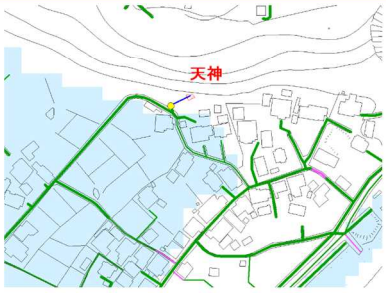
利用できる場所
高台部分

表１６　緊急避難場所（2/8）

落雷神社境内	所在地：才見町落雷前	収容可能人数：149人
		利用できる場所 高台部分

稲荷神社	所在地：中林町林崎56-2	収容可能人数：172人
		利用できる場所 高台部分

弐社神社	所在地：中林町吉ケ内	収容可能人数：24人
		利用できる場所 高台部分

天神	所在地：中林町東	収容可能人数：5人
		**利用できる場所** 高台部分

カフェ・ラ・メール駐車場周辺	所在地：中林町東48-7	収容可能人数：326人
		利用できる場所 高台部分

表１７　緊急避難場所（3/8）

サンライズヒル第２公園

所在地：中林町サンライズヒル

収容可能人数：87人

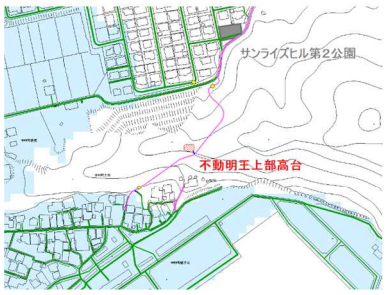
利用できる場所
公園内

※津波浸水想定区域外のため
収容人数に制限を設けない

不動明王上部高台

所在地：中林町大浜

収容可能人数：51人



利用できる場所
高台部分

※津波浸水想定区域外のため
収容人数に制限を設けない

野神神社境内

所在地：中林町松ノ内

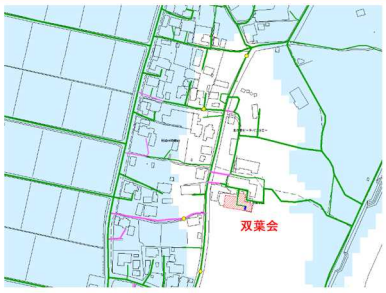
収容可能人数：111人

利用できる場所
境内

双葉会

所在地：見能林町南林260-3

収容可能人数：510人



利用できる場所
1階以上の廊下、屋上

はぐくみの家東側山

所在地：見能林町南林

収容可能人数：15人

利用できる場所
高台部分

表１８　緊急避難場所（4/8）

南林北自主防避難場所	所在地：見能林町南林	収容可能人数：129人
		利用できる場所 高台部分

見能方八幡神社	所在地：見能林町東浦51	収容可能人数：151人
		利用できる場所 高台部分

お山保育園周辺	所在地：見能林町花谷56-2	収容可能人数：1,508人
		利用できる場所 高台部分

三谷集会所前ゲートボール場	所在地：見能林町花谷	収容可能人数：509人
		利用できる場所 高台部分

津峯スカイライン	所在地：見能林町簗溜	収容可能人数：319人
		利用できる場所 料金所付近より高所

表１９　緊急避難場所（5/8）

馬越	所在地：見能林町南林	収容可能人数：108人
		利用できる場所 高台部分

東坂	所在地：大潟町	収容可能人数：39人
		利用できる場所 高台部分 ※津波浸水想定区域外のため 収容人数に制限を設けない

大潟メモリアルパーク上広場	所在地：大潟町	収容可能人数：50人
		利用できる場所 高台部分

諏訪神社	所在地：大潟町	収容可能人数：305人
		利用できる場所 高台部分 ※津波浸水想定区域外のため 収容人数に制限を設けない

妙見神社上広場	所在地：大潟町	収容可能人数：115人
		利用できる場所 高台部分 ※津波浸水想定区域外のため 収容人数に制限を設けない

表２０　緊急避難場所（6/8）

天理教

所在地：大潟町

収容可能人数：651人

利用できる場所
高台部分

※津波浸水想定区域外のため
収容人数に制限を設けない

矢剱神社

所在地：大潟町

収容可能人数：111人

利用できる場所
高台部分

※津波浸水想定区域外のため
収容人数に制限を設けない

四宮光輝氏宅裏山

所在地：大潟町

収容可能人数：26人

利用できる場所
高台部分

※津波浸水想定区域外のため
収容人数に制限を設けない

長浜東１組避難所

所在地：津乃峰町長浜

収容可能人数：113人

利用できる場所
高台部分

※津波浸水想定区域外のため
収容人数に制限を設けない

四国電力（株）長浜アパート裏山（長浜東２）

所在地：津乃峰町長浜

収容可能人数：58人

利用できる場所
高台部分

※津波浸水想定区域外のため
収容人数に制限を設けない

表２１　緊急避難場所（7/8）

内古田氏旧宅裏山（長浜東３）	所在地：津乃峰町東分	収容可能人数：82人
		利用できる場所 高台部分 ※津波浸水想定区域外のため 収容人数に制限を設けない

藤枝弘文氏宅裏山	所在地：津乃峰町東分	収容可能人数：547人
		利用できる場所 高台部分

津乃峰台周辺	所在地：津乃峰町中分	収容可能人数：537人
		利用できる場所 高台部分

両皇神社周辺	所在地：津乃峰町中分	収容可能人数：11人
		利用できる場所 高台部分

国道５５号バイパス 津乃峰新トンネル北鉄塔の山	所在地：津乃峰町西分	収容可能人数：116人
		利用できる場所 高台部分

表２２　緊急避難場所（8/8）

国道５５号バイパス 津乃峰新トンネル周辺	所在地：津乃峰町中分	収容可能人数：60人
		利用できる場所 高台部分

古路神社周辺	所在地：津乃峰町中分	収容可能人数：90人
		利用できる場所 高台部分

四国電力(株)阿南寮駐車場	所在地：津乃峰町中分	収容可能人数：907人
		利用できる場所 高台部分

阿南公園八幡神社周辺	所在地：富岡町滝の下	収容可能人数：5,029人
		富岡地区 利用できる場所 高台部分 ※津波浸水想定区域外のため 収容人数に制限を設けない

表２３　津波避難ビル（1/6）

阿南中学校

所在地：見能林町南勘高1

収容可能人数：5,032人

市指定

利用できる場所
校舎2階以上、
屋内運動場3階以上

見能林公民館

所在地：見能林町念仏免4-1

収容可能人数：308人

市指定

利用できる場所
2階

見能林小学校

所在地：見能林町西内35

収容可能人数：1,854人

市指定

利用できる場所
2階以上

阿南工業高等専門学校

所在地：見能林町青木265

収容可能人数：1,332人

市指定

利用できる場所
屋上

津乃峰小学校

所在地：津乃峰町戎山129-37

収容可能人数：665人

市指定

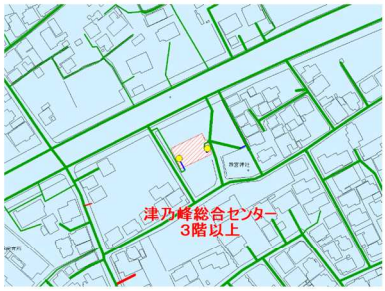
利用できる場所
3階

表２４　津波避難ビル（2/6）

津乃峰総合センター

所在地：津乃峰町長浜494

収容可能人数：470人



市指定

利用できる場所
3階以上

津乃峰町新浜地区津波避難タワー

所在地：津乃峰町新浜

収容可能人数：70人

市指定

利用できる場所
屋上

第三コーポ松橋

所在地：才見町石橋64-1

収容可能人数：53人

利用できる場所
2階以上

第三眉山マンション

所在地：見能林町大作半21-1

収容可能人数：63人

利用できる場所
2階以上

見能林アパート 北棟

所在地：見能林町九反ケ坪７-３

収容可能人数：258人

利用できる場所
2階以上

表２５　津波避難ビル（3/6）

見能林アパート 南棟	所在地：見能林町九反ケ坪７-３	収容可能人数：258人

利用できる場所
2階以上

見能林ハイツ	所在地：見能林町志んじやく30-1	収容可能人数：6人

利用できる場所
3階

第二眉山マンションA棟	所在地：見能林町東石仏14	収容可能人数：72人

利用できる場所
2階以上

シティグレースほうしょう	所在地：見能林町志んじやく6-1	収容可能人数：200人

利用できる場所
2階以上

社会医療法人 杜のホスピタル	所在地：見能林町築溜1-1	収容可能人数：961人

利用できる場所
２階（待合室、作業療法室、デイケア室、重度認知患者デイ室）
５階（大会議室）
屋上（南側）

表２６　津波避難ビル（4/6）

日亜 見能林社宅

所在地：見能林町青木261-1

収容可能人数：727人

利用できる場所
3階以上

グリーンピア津乃峰

所在地：津乃峰町長浜130-1

収容可能人数：150人

利用できる場所
3階以上

Ｔ＆Ｓマスダビル

所在地：津乃峰町中分2-3

収容可能人数：35人

利用できる場所
3階

阿南団地県営住宅１

所在地：津乃峰町長浜18

収容可能人数：54人

利用できる場所
3階以上

阿南団地県営住宅２

所在地：津乃峰町長浜18

収容可能人数：54人

利用できる場所
3階以上

表２７　津波避難ビル（5/6）

阿南団地県営住宅３	所在地：津乃峰町長浜18	収容可能人数：72人

利用できる場所
3階以上

阿南団地県営住宅４	所在地：津乃峰町長浜18	収容可能人数：54人

利用できる場所
3階以上

阿南団地県営住宅５	所在地：津乃峰町長浜18	収容可能人数：54人

利用できる場所
3階以上

阿南団地県営住宅６	所在地：津乃峰町長浜18	収容可能人数：54人

利用できる場所
3階以上

阿波製紙（株） 阿南工場管理棟	所在地：津乃峰町新浜72-3	収容可能人数：330人

利用できる場所
屋上

表２８　津波避難ビル（6/6）

スーパーホテル阿南・富岡	所在地：学原町深田9-1	収容可能人数：378人
		富岡地区 利用できる場所 2階以上

５　津波避難シミュレーション

（１）概要

「津波避難対策推進マニュアル検討会報告書」（平成２５年３月　消防庁国民保護・防災部防災課）及び「津波防災まちづくりの計画策定に係る指針」（平成２５年６月　国土交通省都市局都市安全課・街路交通施設課）に基づき、見能林地区における避難行動の津波避難シミュレーション（以下、シミュレーションという。）を行った。

シミュレーションでは、建物毎の世帯構成が明確でないため、避難対象地域内の全住民が建物単位で避難することを前提として、まず避難対象地域外にある避難目標地点へ優先的に避難することとした。次に時間内に避難目標地点に到達できなかった住民は、市指定津波避難場所または緊急避難場所に避難し、さらに市指定津波避難場所または緊急避難場所にも到達できなかった住民は、津波避難ビルに避難することとした。

ただし、**５００m以内に津波時の避難先を整備することが望ましい**（市町村津波避難計画の策定に関するガイドライン、徳島県、平成２５年３月）こと、及び**避難対象地域外を優先するがゆえに遠すぎる避難目標地点に避難することを回避する**（例えば“５分で避難できる緊急避難場所がありながら、１９分掛けて優先度の高い避難目標地点へ避難すること”を避ける）ことを考慮し、津波避難シミュレーション結果を調整した。

（２）避難の方法

避難にあたって自動車等を利用することは、次の理由により円滑な避難ができないおそれが高いことから、避難方法は原則として**徒歩**によるものとする。

- 家屋や電柱の倒壊、落下物、液状化等により円滑な避難ができないおそれがある。
- 多くの避難者が自動車等を利用した場合、渋滞や交通事故等のおそれがある。
- 自動車等の利用が徒歩による避難者の円滑な避難を妨げるおそれがある。
- 橋梁や暗渠上の道路については、地震後の被害状況に注意の上通行する必要がある。

（３）条件設定

１）避難対象地域

見能林地区の津波災害警戒区域内及びその周辺住民を避難対象とする。表２９に避難対象地域内・外の人口を示す。

２）避難対象者（避難人口）

住民基本台帳（令和２年３月３１日現在）の字別人口から字別集合住宅在住の人口を差し引いて各建物に割り振り、避難対象地域内の建物人口を避難対象者として設定する。ここで、避難行動は建物単位で行うものとする。また、津波避難ビルに在住する住民は収容階未満の住民のみ上階の利用できる場所へ避難できるものとする。なお、シミュレーションにおいては、深夜等の全住民が在宅している状況を想定しており、事業所での滞在者や移動中は考慮していない。

表２９　見能林地区における避難対象地域内・外の人口

	人口（人）		合計
避難対象地域内 （うち、上乗せ人口）	12,322 (2,737)	94.6% (21.0%)	13,024
避難対象地域外	702	5.4%	

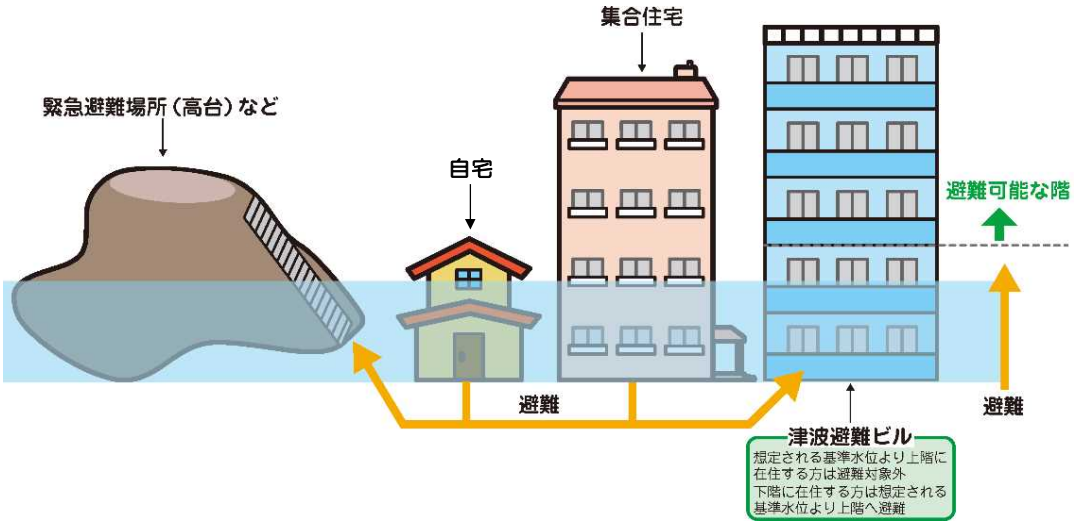


図１４　避難行動のイメージ

ただし、学校等の昼間等に多くの人が集まる施設については、表３０に示す施設利用者数を上乗せした。なお、津乃峰小学校については、本計画の避難先とは別の避難先を定めた独自の避難計画があるため、対象外とした。

表３０　上乗せ人口施設一覧表

名　称	種　類	住　所	上乗せ人口（人）	避難対象地域の内外
阿南工業高等専門学校	高等専門学校	阿南市見能林町青木２６５	938	内
阿南中学校	中学校	阿南市見能林町南勘高１	580	内
見能林小学校	小学校	阿南市見能林町西内３５	451	内
見能林幼稚園	幼稚園	阿南市見能林町東野１０-２	68	内
見能方保育所	保育所・保育園	阿南市見能林町東野１２-２	57	内
津乃峰保育所	保育所・保育園	阿南市津乃峰町長浜３８７	68	内
阿南ひまわり保育園	保育所・保育園	阿南市見能林町堤ノ内５-１	104	内
阿波製紙㈱阿南事業所	事業所	阿南市津乃峰町新浜７２-３	166	内
ｿﾙﾍﾞｲ・ｽﾍﾟｼｬﾙｹﾑ・ｼﾞｬﾊﾟﾝ㈱阿南工場	事業所	阿南市大潟町２１０-５１	62	内
大潟運輸団地協同組合	事業所	阿南市大潟町２１０-５２	149	内
㈱ｼｬｲﾈｯｸｽ大潟新浜工場	事業所	阿南市大潟町２１０-５３	36	内
ﾉｳﾞｨﾙﾊﾞﾌﾞﾘｯｸﾜｰｸｽ㈱阿南工場	事業所	阿南市津乃峰町新浜７２-１５	36	内
日立化成㈱五井事業所	事業所	阿南市津乃峰町新浜７２-２５	22	内

３）津波到達予想時間と避難可能時間

見能林地区の陸域への津波到達予想時間は、「徳島県津波浸水想定」に基づく　３０cm　浸水開始時間を基に設定する。見能林地区の津波到達予想時間は２３分で、場所は中林海岸とされている。（阿南市津波避難計画　令和３年３月より）

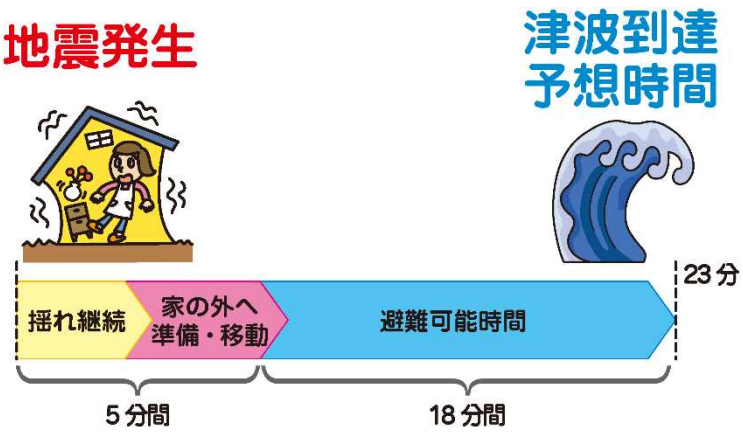


図１５　避難可能時間の設定

次に、地震発生後５分後（揺れ始めて避難を開始するまでにかかる準備時間）に避難を開始できるものとし、津波到達予想時間２３分から５分を引いた１８分を避難可能時間とする。なお、揺れの継続時間や避難準備時間は、不確実なものであるため、発災時における避難可能時間は変化することに留意が必要である。

４）津波時の避難先

表４～７の各一覧表に示した場所を避難先とする。シミュレーションでは後述する図１７に示す「避難到達ポイント」を設定し、この地点に到達した時点で避難完了とする。津波時の避難先の収容可能人数については、市の公示のとおりに設定するものとした。（避難目標地点：制限無し、緊急避難場所：１人／２㎡、津波避難ビル：１人／１㎡）

さらに各避難先に対して、表３０～３４示すとおり優先度（図１６：優先度①、②、③）を設けシミュレーションを行った。

・避難目標地点は、表３１～３２の７箇所であり、収容可能人数に制限は設けない。

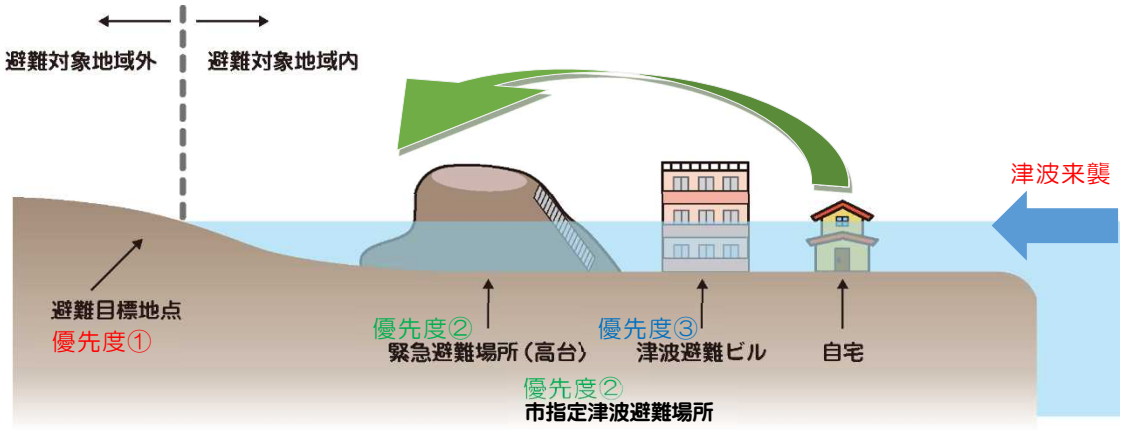


図１６　津波時の避難先の種類

表３１　津波時の避難先の優先度一覧（1/５）

種　別	名　称	収容可能人数（人）	優先度
避難目標地点	見能林町西部避難エリア	*	①
	旭越山地区避難エリア	*	①
	(株)岡部機械工業才見工場	861	-
	森田技研工業(株)	638	-
	中林町避難エリア	*	①
	八大神社周辺避難エリア	*	①
	湯ノ木谷（西１、２）	55	-
	八大神社	271	-
	日本電工（株）社宅跡地	501	-
	津乃峰登山口	89	-
	津乃峰台周辺	537	-

＊：津波浸水想定区域外のため収容人数に制限を設けない

表３２　津波時の避難先の優先度一覧（2/５）

種　別	名　称	収容可能人数（人）	優先度
避難目標地点	戎山地区周辺避難エリア	＊	①
	B&G財団阿南海洋センター裏山	43	－
	塩竈神社	100	－
	坂野氏宅裏山	53	－
	えびすの丘	32	－
	蛭子神社裏山	41	－
	大山神社周辺避難エリア	＊	①
	大山神社頂上部	68	－
	大山神社	39	－
	津乃峰地区防災公園周辺避難エリア	＊	①
	地蔵寺	356	－
	津乃峰地区防災公園	4,500	－

＊：津波浸水想定区域外のため収容人数に制限を設けない

表３３　津波時の避難先の優先度一覧（３/５）

種　別	名　称	収容可能人数（人）	優先度
緊急避難場所	東部自然公園散策路	223	②
	山崎喜代治氏所有墓地裏山	69	②
	中山峯男氏宅裏山	299	②
	篠原賢治氏宅裏山	13	②
	四国電力（株）辰巳線No.１２鉄塔の山	76	②
	落雷神社境内	149	②
	稲荷神社	172	②
	弐社神社	24	②
	天神	5	②
	カフェ・ラ・メール駐車場周辺	326	②
	サンライズヒル第２公園	87 ＊	②
	不動明王上部高台	51 ＊	②
	野神神社境内	111	②
	双葉会	510	②
	はぐくみの家東側山	15	②
	南林北自主防避難場所	129	②
	見能方八幡神社	151	②
	お山保育園周辺	1,508	②
	三谷集会所前ゲートボール場	509	②
	津峯スカイライン	319	②
	馬越	108	②
	東坂	39 ＊	②
	大潟メモリアルパーク上広場	50	②
	諏訪神社	305 ＊	②
	妙見神社上広場	115 ＊	②
	天理教	651 ＊	②
	矢剱神社	111 ＊	②
	四宮光輝氏宅裏山	26 ＊	②

＊：津波浸水想定区域外のため収容人数に制限を設けない

表３４　津波時の避難先の優先度一覧（4/5）

種　別	名　称	収容可能人数（人）	優先度
緊急避難場所	長浜東１組避難所	113 ＊	②
	四国電力（株）長浜アパート裏山（長浜東２）	58 ＊	②
	内古田氏旧宅裏山（長浜東３）	82 ＊	②
	藤枝弘文氏宅裏山	547	②
	津乃峰台周辺	537	②
	両皇神社周辺	11	②
	国道５５号バイパス 津乃峰新トンネル北鉄塔の山	116	②
	国道５５号バイパス 津乃峰新トンネル周辺	60	②
	古路神社周辺	90	②
	四国電力（株）阿南寮駐車場	907	②
	阿南公園八幡神社周辺	5,029	②
津波避難ビル（市指定）	阿南中学校　校舎2階以上	3,782	②
	阿南中学校　屋内運動場3階以上	1,250	②
	見能林公民館	308	②
	見能林小学校	1,854	②
	阿南工業高等専門学校	1,332	②
	津乃峰小学校	665	②
	津乃峰総合センター	470	②
	津乃峰町新浜地区津波避難タワー	70	②

＊：津波浸水想定区域外のため収容人数に制限を設けない

表３５　津波時の避難先の優先度一覧（5/5）

種　別	名　称	収容可能人数（人）	優先度
津波避難ビル	第三コーポ松橋	53	③
	第三眉山マンション	63	③
	見能林アパート 北棟	258	③
	見能林アパート 南棟	258	③
	見能林ハイツ	6	③
	第二眉山マンションA棟	72	③
	シティグレースほうしょう	200	③
	社会医療法人　杜のホスピタル	961	③
	日亜 見能林社宅	727	③
	グリーンピア津乃峰	150	③
	Ｔ＆Ｓマスダビル	35	③
	阿南団地県営住宅１	54	③
	阿南団地県営住宅２	54	③
	阿南団地県営住宅３	72	③
	阿南団地県営住宅４	54	③
	阿南団地県営住宅５	54	③
	阿南団地県営住宅６	54	③
	阿波製紙（株） 阿南工場管理棟	330	③
	スーパーホテル阿南・富岡	378	③

＊：津波浸水想定区域外のため収容人数に制限を設けない

５）避難速度

６）に示す避難経路において、道路の種別に応じて、以下のとおり避難速度を変化させる。

［平地（橋を含む）における避難速度（基本避難速度）］

① 幅員 2.25m 以上の経路　　毎秒 1.0m（毎分 60m）

② 幅員 2.25m 未満の経路　　毎秒 0.5m（毎分 30m）

［階段・坂道における避難速度］

基本避難速度から 55%低下　　毎秒 0.45m（毎分 27m）

設定根拠：【津波避難対策推進マニュアル検討会：消防庁国民保護・防災部防災課、平成２５年３月】 歩行速度の設定による

６）避難経路

津波からの避難にあたって通行可能な道路すべてを避難経路として設定している。ここで道路の種別としては、平地（橋を含む）、階段・坂道の２種に分類し、前述したとおり避難速度を変化させた。

海岸沿い、河川沿い、水門・樋門付近の道路は津波による影響が懸念されるため、出来る限り通行は避けることが望ましい。さらに、避難を完了するまでに時間的な余裕がある場合は、比較的広い経路を通行することが望ましい。

７）避難到達ポイント

シミュレーションを実施するにあたり、津波時の避難先へ向かう避難経路上に津波からの**避難を完了すると見なす地点「避難到達ポイント」**（図１７）を設定した。シミュレーションでは、避難者が自宅から津波時の避難先の避難到達ポイントまでに要する時間を計測し、避難可能時間内に避難到達ポイントに辿り着いた建物を避難可能とする。

後述の図１８～図２３に示すとおり、基準水位を考慮した上で各津波時の避難先への経路上の避難可能な位置（階）に避難到達ポイントを設定（複数の経路がある場合は、複数設定）している。

ただし、実際に避難する際には避難到達ポイントに留まることなく、利用できる場所のうち、さらに高い所（上階等）を目指し、多くの避難者による避難経路の渋滞等の発生を回避することが重要である。

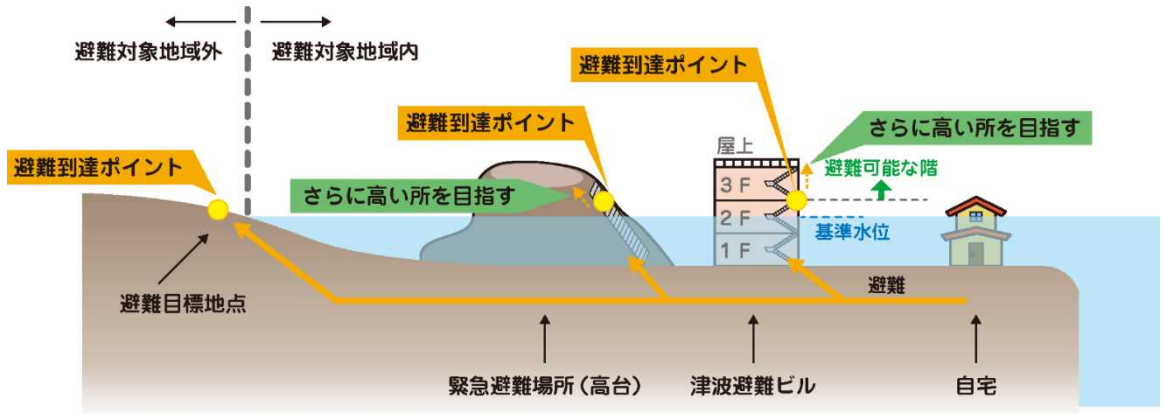
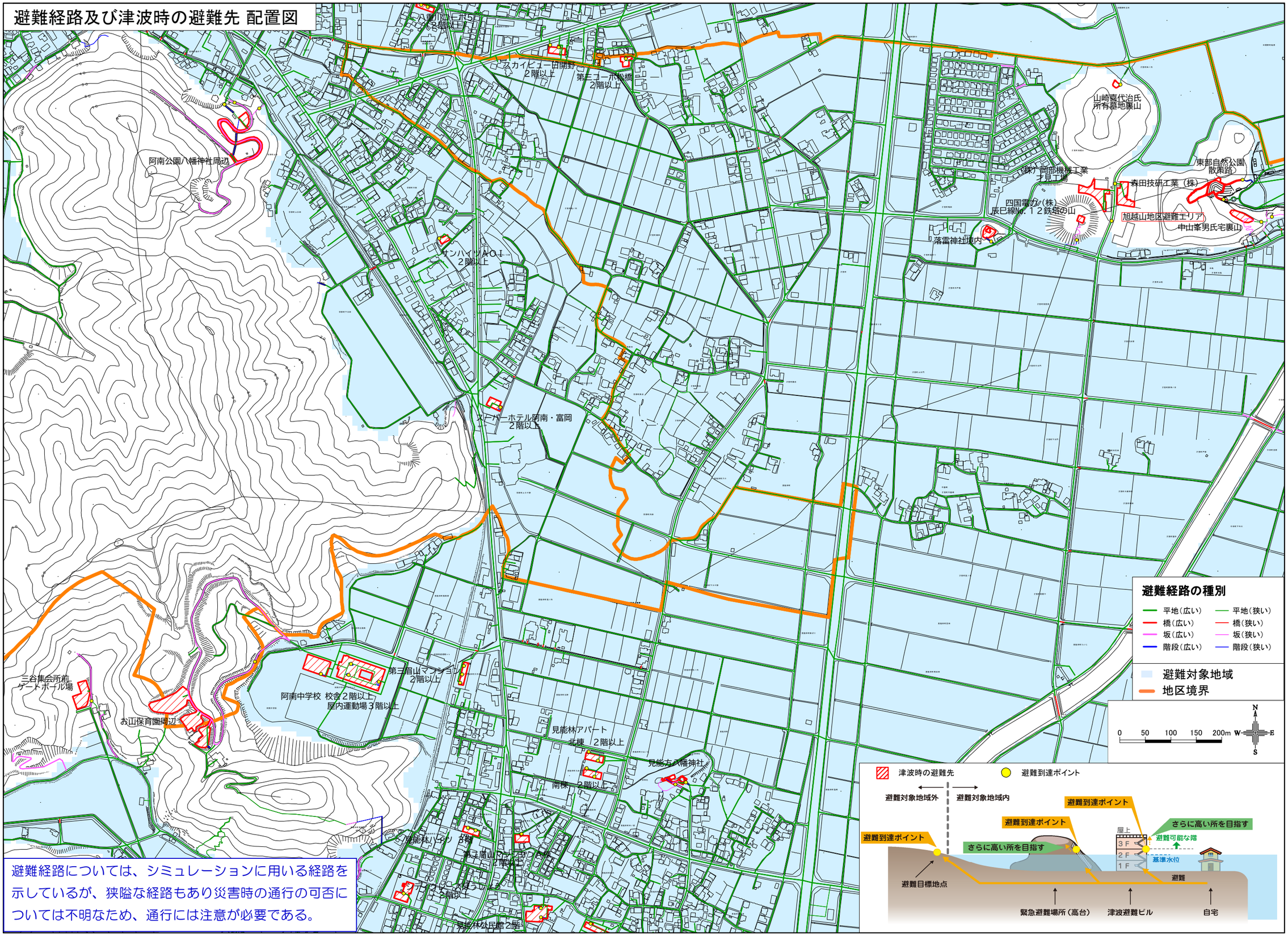


図１７　避難到達ポイントの設定イメージ

避難経路及び津波時の避難先 配置図



避難経路については、シミュレーションに用いる経路を示しているが、狭隘な経路もあり災害時の通行の可否については不明なため、通行には注意が必要である。

避難経路及び津波時の避難先 配置図

避難経路については、シミュレーションに用いる経路を示しているが、狭隘な経路もあり災害時の通行の可否については不明なため、通行には注意が必要である。

三谷集会所前
ゲートボール場

お山保育園周辺

阿南中学校　校舎２階以上
屋内運動場３階以上

第三眉山マンション
2階以上

見能林アパート
北棟　２階以上
南棟　２階以上

見能古八幡神社

見能林町 西部避難エリア

社会医療法人　杜のホスピタル
2階・5階・屋上

見能林小学校
2階以上

津峯スカイライン

日亜 見能林社宅
3階以上

阿南工業高等専門学校屋上

長浜東１組避難所

グリーンヒア津乃峰
3階以上

避難経路の種別

- 平地（広い）
- 平地（狭い）
- 橋（広い）
- 橋（狭い）
- 坂（広い）
- 坂（狭い）
- 階段（広い）
- 階段（狭い）

避難対象地域

地区境界

0　50　100　150　200m

N　W　E　S

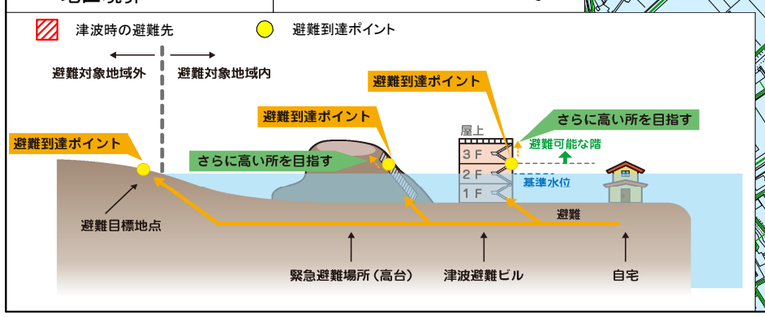
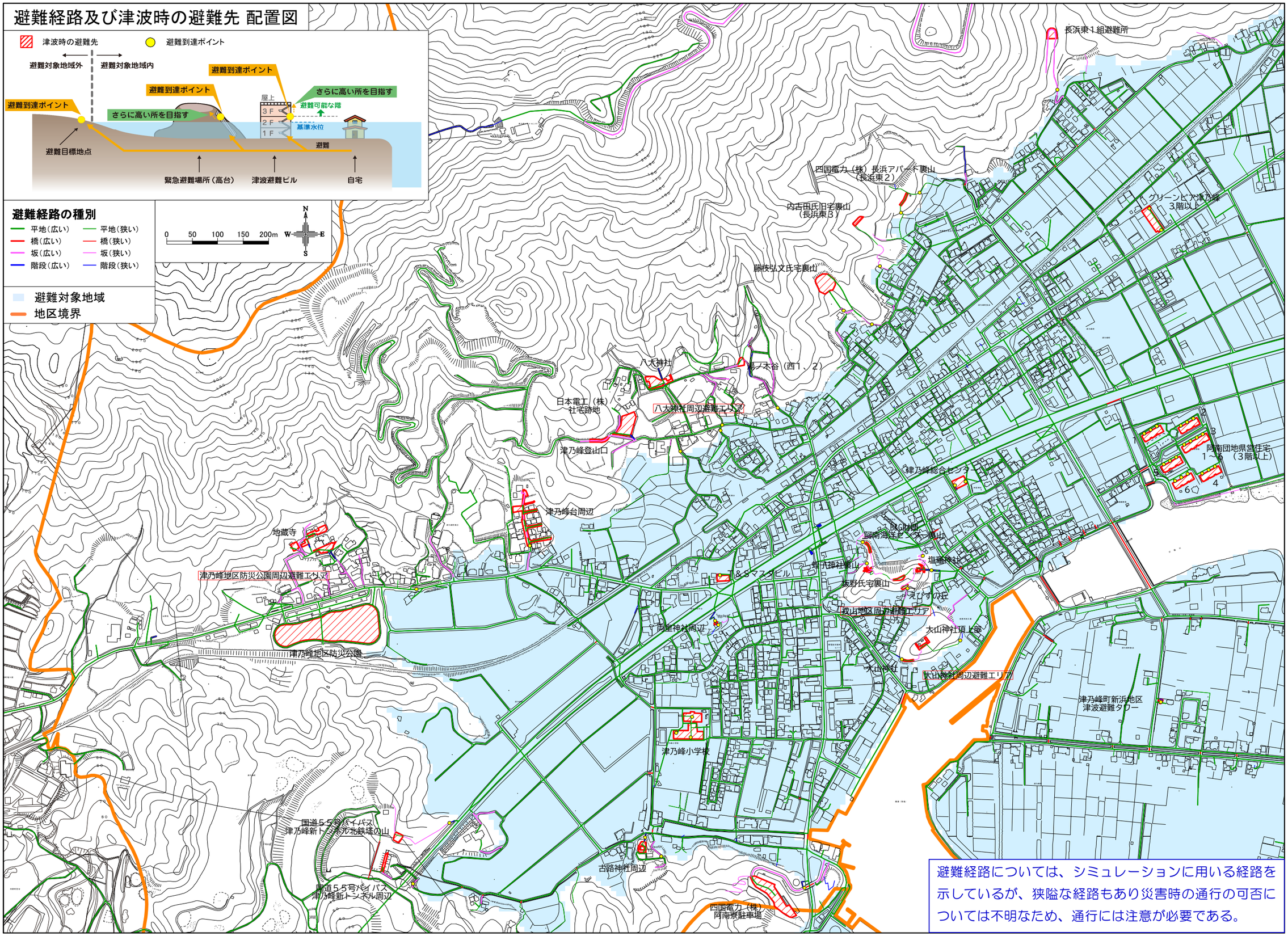
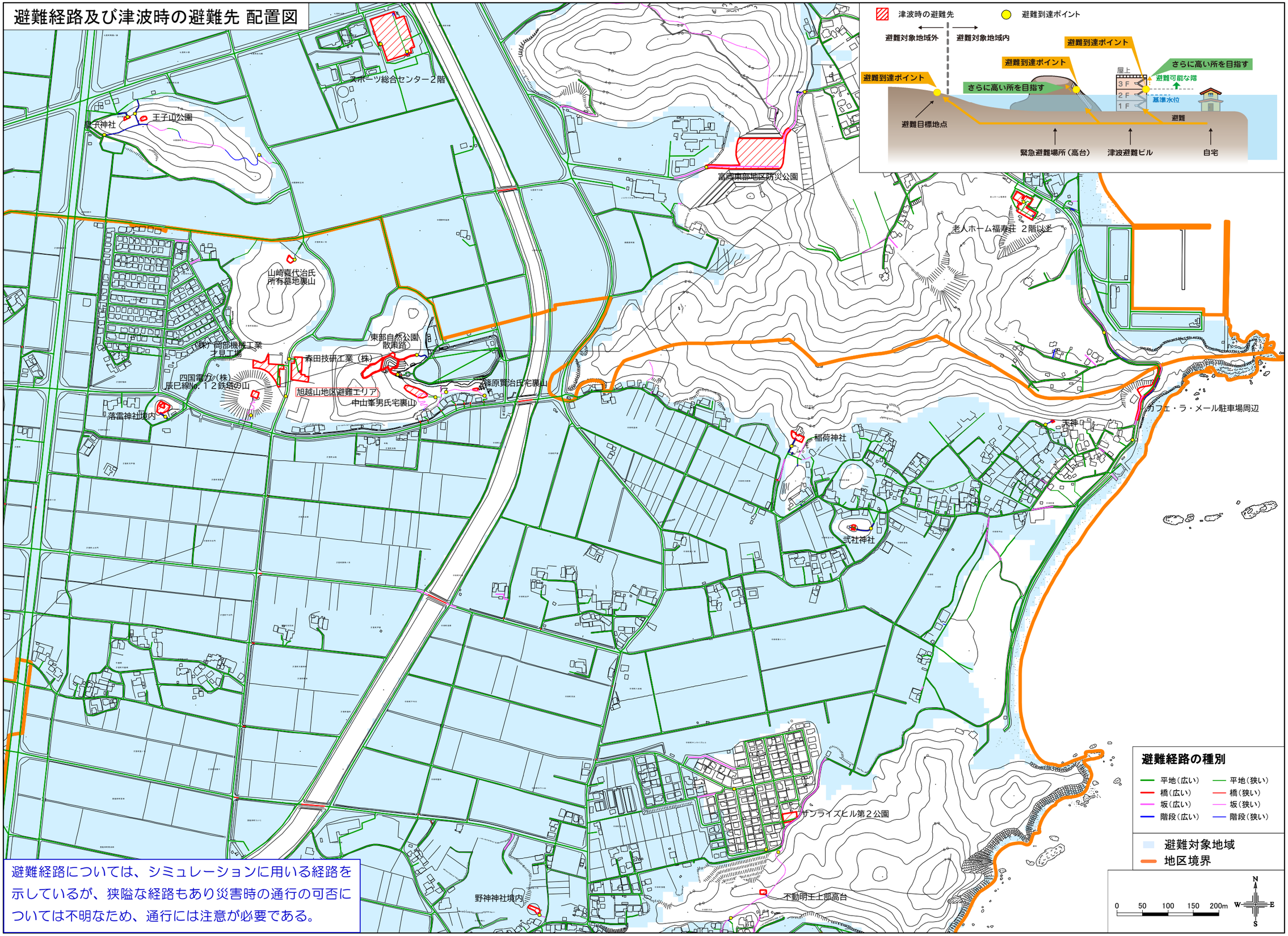


図２０　避難経路及び津波時の避難先 配置図（その３）



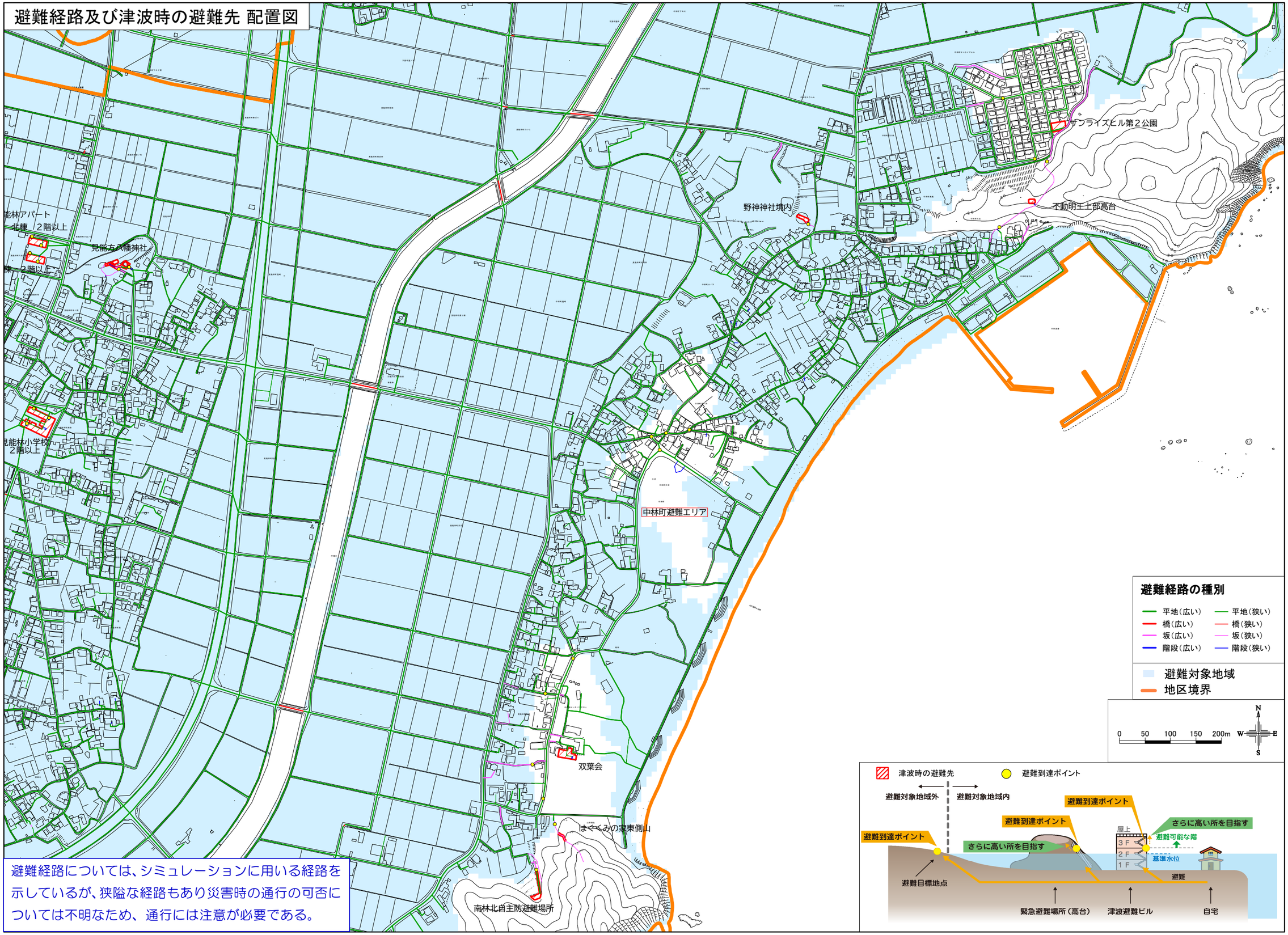
避難経路については、シミュレーションに用いる経路を示しているが、狭隘な経路もあり災害時の通行の可否については不明なため、通行には注意が必要である。

図２１　避難経路及び津波時の避難先 配置図（その４）



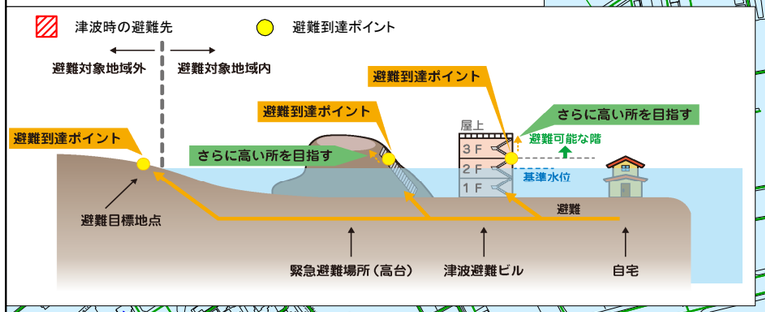
避難経路については、シミュレーションに用いる経路を示しているが、狭隘な経路もあり災害時の通行の可否については不明なため、通行には注意が必要である。

避難経路及び津波時の避難先 配置図



避難経路については、シミュレーションに用いる経路を示しているが、狭隘な経路もあり災害時の通行の可否については不明なため、通行には注意が必要である。

避難経路及び津波時の避難先 配置図



避難経路については、シミュレーションに用いる経路を示しているが、狭隘な経路もあり災害時の通行の可否については不明なため、通行には注意が必要である。

避難経路の種別

- 平地（広い）
- 平地（狭い）
- 橋（広い）
- 橋（狭い）
- 坂（広い）
- 坂（狭い）
- 階段（広い）
- 階段（狭い）

0　50　100　150　200m

N　W　E　S

- 避難対象地域
- 地区境界

（4）シミュレーション結果

シミュレーションの計算結果を以下へ示す。図２４は、地区全体の１分毎の避難者数及び避難完了率（避難対象者総人口に対する避難者の合計数の割合）の推移を示している。５分間で全体の48.3%、１０分間で 86.2%、１５分間で 99.1%となり、最終的に１７分で 100%となった。

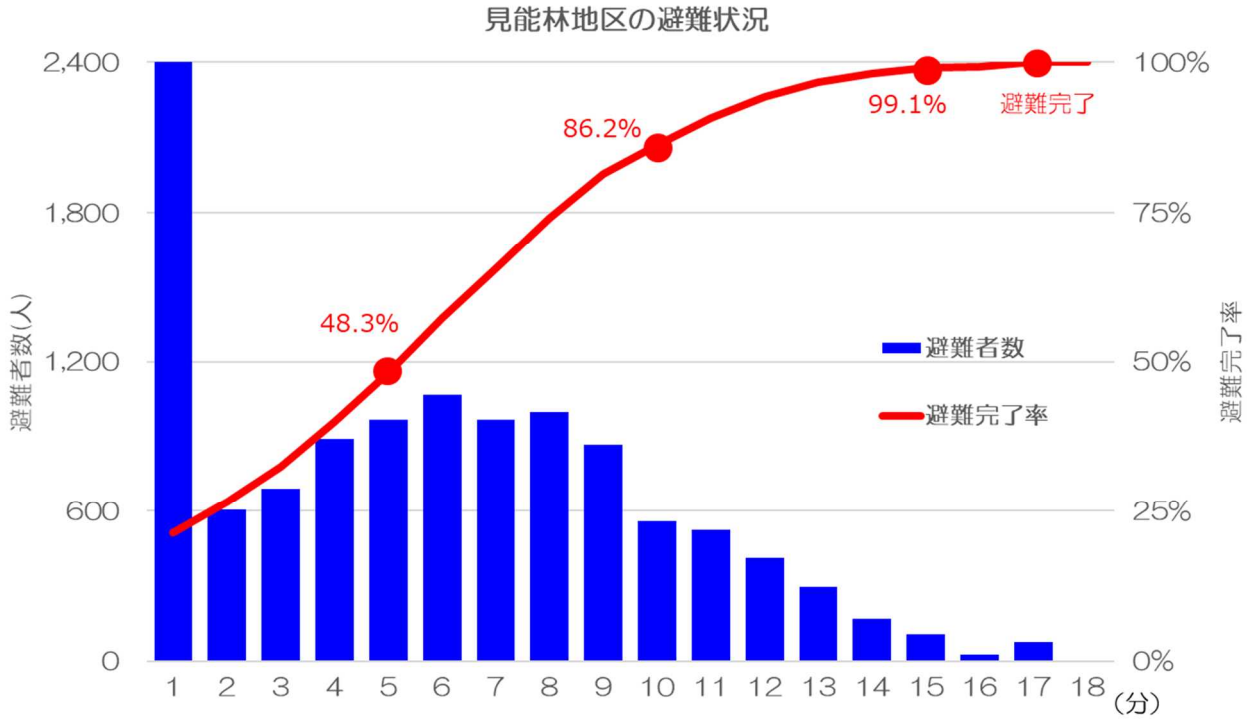


図２４　避難開始から１分毎の避難者数及び避難完了率の推移

次に、表３６に津波時の各避難先への避難者数及び収容率（収容可能人数に対する避難者数の割合）を集計表として示す。集計表は、見能林地区の避難先へ避難した富岡地区からの避難者数、富岡地区の避難先へ避難した見能林地区の避難者数及び富岡地区の避難者数も含めたものとなっている。

世帯毎の避難状況については、図２５～図３６にシミュレーション結果の各戸の避難先（避難可能時間内に避難可能な津波時の避難先）別色分け図、所要時間（避難に要する時間）別色分け図に示す。ただし、シミュレーションでは、住宅街等で複数の避難先が混在する場合には、地域のまとまり（自主防災組織の範囲、字界等）を考慮し、まとまった避難先になるように調整した。また、当地区の北部に隣接する富岡地区、南部に隣接する橘地区の避難先については、両地区の住民が多数避難することが予想されるため、可能な限り見能林地区内の避難先へ避難できるよう調整を行った。

避難に多くの時間を要する地域については、状況に応じて近隣の避難先へ避難するなど、複数の避難先を検討しておくことが望ましいが、選択できる避難先は少ないためその避難先を確保することが重要となる。

なお、避難行動要支援者毎の津波時の避難先については、策定を進めている個別計画で別途検討し定めていくこととなっている。

表３６　津波時の各避難先への避難者数

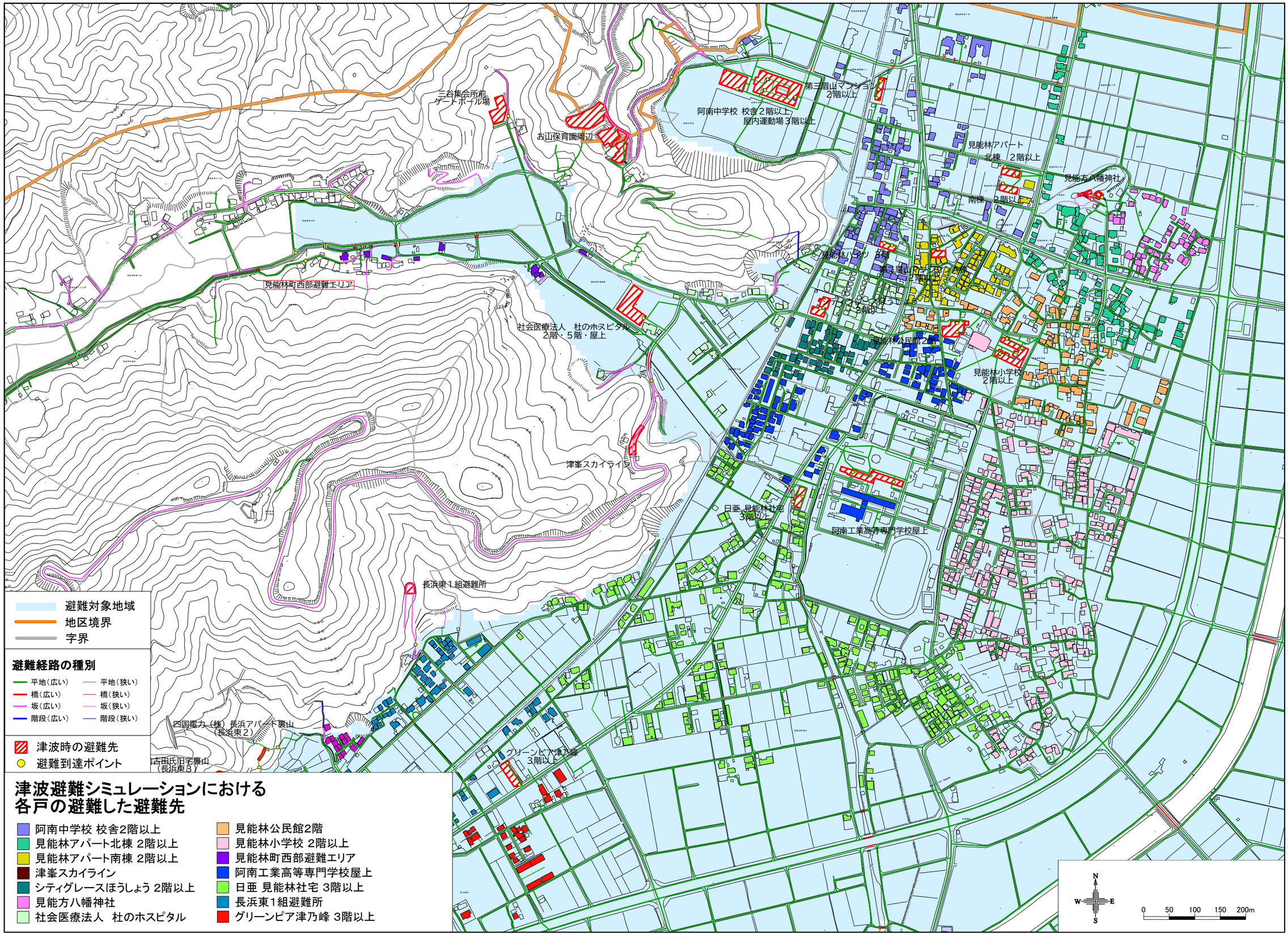
		津波避難先名	地区内からの避難者数	他地区からの避難者数	総計	収容可能人数	収容率
優先度①	避難目標地点	見能林町西部避難エリア	17.00	0	17.00	上限なし	―
		旭越山地区避難エリア	865.19	0	865.19	上限なし	―
		森田技研工業(株)、(株)岡部機械工業才見工場					
		中林町避難エリア	422.00	0	422.00	上限なし	―
		八大神社周辺避難エリア	278.61	0	278.61	上限なし	―
		湯ノ木谷（西１、２）、八大神社、日本電工（株）社宅跡地、津乃峰登山口					
		戎山地区周辺避難エリア	400.06	0	400.06	上限なし	―
		B&G財団阿南海洋センター裏山、塩竈神社、坂野氏宅裏山、えびすの丘、蛭子神社裏山					
		大山神社周辺避難エリア	0.00	0	0.00	上限なし	―
		大山神社頂上部、大山神社					
		津乃峰防災公園周辺避難エリア	216.21	0	216.21	上限なし	―
		地蔵寺、津乃峰地区防災公園					
優先度②	市指定津波避難場所	東部自然公園散策路	0	0	0	223	0%
		阿南中学校 校舎２階以上	974.27	21.00	995.27	3,782	26.3%
		阿南中学校 屋内運動場3階以上	0	0	0	1,250	0%
		見能林公民館２階	233.14	0	233.14	308	75.7%
		見能林小学校 ２階以上	1,302.29	0	1,302.29	1,854	70.2%
		阿南工業高等専門学校屋上	1,191.72	0	1,191.72	1,332	89.5%
		津乃峰小学校３階	412.76	0	412.76	665	62.1%
		津乃峰総合センター ３階以上	464.08	0	464.08	470	98.7%
		津乃峰町新浜地区津波避難タワー	69.42	0	69.42	70	99.2%
	緊急避難場所	山崎喜代治氏所有墓地裏山	0	0	0	69	0%
		中山幸男氏宅裏山	0	0	0	299	0%
		篠原賢治氏宅裏山	0	2.00	2.00	13	15.4%
		四国電力（株）辰巳線No.１２鉄塔の山	0	0	0	76	0%
		落雷神社境内	138.03	0	138.03	149	92.6%
		稲荷神社	113.53	0	113.53	172	66.0%
		弐社神社	0	0	0	24	0%
		天神	0	0	0	5	0%
		カフェ・ラ・メール駐車場周辺	104.33	0	104.33	326	32.0%
		サンライズヒル第２公園	153.07	0	153.07	上限なし	―
		不動明王上部高台	270.39	0	270.39	上限なし	―
		野神神社境内	56.28	0	56.28	111	50.7%
		双葉会	82.16	0	82.16	510	16.1%
		はぐくみの家東側山	0	0	0	15	0%
		南林北自主防避難場所	0	0	0	129	0%
		見能方八幡神社	150.42	0	150.42	151	99.6%
		お山保育園周辺	0	0	0	1,508	0%
		三谷集会所前ゲートボール場	0	0	0	509	0%
		津峯スカイライン	0	0	0	319	0%
		馬越	96.50	0	96.50	108	89.4%
		東坂	60.44	0	60.44	上限なし	―
		大潟メモリアルパーク上広場	3.34	0	3.34	50	6.7%
		諏訪神社	624.94	0	624.94	上限なし	―
		妙見神社上広場	108.55	0	108.55	上限なし	―
		天理教	66.80	0	66.80	上限なし	―
		矢頴神社	100.20	0	100.20	上限なし	―
		四宮光輝氏宅裏山	0	0	0	上限なし	―
		長浜東１組避難所	197.30	0	197.30	上限なし	―
		四国電力（株）長浜アパート裏山（長浜東２）	138.60	0	138.60	上限なし	―
		内古田氏旧宅裏山（長浜東３）	69.00	0	69.00	上限なし	―
		藤枝弘文氏宅裏山	186.50	0	186.50	547	34.1%
		津乃峰台周辺	0	0	0	537	0%
		両皇神社周辺	0	0	0	11	0%
		国道５５号バイパス 津乃峰新トンネル北鉄塔の山	0	0	0	116	0%
		国道５５号バイパス 津乃峰新トンネル周辺	0	0	0	60	0%
		古路神社周辺	0	0	0	90	0%
		四国電力（株）阿南寮駐車場	0	0	0	907	0%
		阿南公園八幡神社周辺【富岡地区】	176.07	509.02	685.09	5,029	13.6%
優先度③	緊急避難場所	第三コーボ松橋 ２階以上	37.69	2.55	40.24	53	75.9%
		第三眉山マンション ２階以上	9.25	0	9.25	63	14.7%
		見能林アパート北棟 ２階以上	255.63	0	255.63	258	99.1%
		見能林アパート南棟 ２階以上	250.56	0	250.56	258	97.1%
		見能林ハイツ ３階	0	0	0	6	0%
		第二眉山マンションA棟 ２階以上	0	0	0	72	0%
		シティグレースほうしょう ２階以上	153.49	0	153.49	200	76.7%
		社会医療法人　杜のホスピタル　２階・５階・屋上	199.08	0	199.08	961	20.7%
		日亜 見能林社宅 ３階以上	636.22	0	636.22	727	87.5%
		グリーンピア津乃峰 ３階以上	137.25	0	137.25	150	91.5%
		Ｔ＆Ｓマスダビル３階	1.67	0	1.67	35	4.8%
		阿南団地県営住宅１ ３階以上	24.56	0	24.56	54	45.5%
		阿南団地県営住宅２ ３階以上	22.26	0	22.26	54	41.2%
		阿南団地県営住宅３ ３階以上	29.68	0	29.68	72	41.2%
		阿南団地県営住宅４ ３階以上	22.26	0	22.26	54	41.2%
		阿南団地県営住宅５ ３階以上	22.26	0	22.26	54	41.2%
		阿南団地県営住宅６ ３階以上	22.26	0	22.26	54	41.2%
		阿波製紙（株） 阿南工場管理棟屋上	0	0	0	330	0%
		スーパーホテル阿南・富岡【富岡地区】	174.63	196.76	371.39	378	98.3%
総計			11,741.95	731.33	12,473.28		

津波避難シミュレーションにおける
各戸の避難した避難先

- 阿南公園八幡神社周辺
- 第三コーポ松橋 2階以上
- スーパーホテル阿南・富岡 2階以上
- 阿南中学校 校舎2階以上
- 見能林アパート北棟 2階以上
- 見能林アパート南棟 2階以上
- 社会医療法人　杜のホスピタル
- 阿南工業高等専門学校屋上
- 見能林町西部避難エリア
- 落雷神社境内
- 旭越山地区避難エリア
- 津峯スカイライン
- シティグレースほうしょう 2階以上
- 見能方八幡神社
- 見能林公民館2階
- 見能林小学校 2階以上
- 野神神社境内

図２６　津波避難シミュレーション結果
（避難先別）

（その２）



津波避難シミュレーションにおける各戸の避難した避難先

- 日亜 見能林社宅 3階以上
- 長浜東1組避難所
- 四国電力(株)長浜アパート裏山(長浜東2)
- 内古田氏旧宅裏山(長浜東3)
- 藤枝弘文氏宅裏山
- グリーンピア津乃峰 3階以上
- 阿南団地県営住宅5（3階以上）
- 津乃峰総合センター 3階以上
- 八大神社周辺避難エリア
- 戎山地区周辺避難エリア
- 津乃峰小学校3階
- 津乃峰地区防災公園周辺避難エリア
- 津乃峰町新浜地区津波避難タワー
- 諏訪神社

避難対象地域
地区境界
字界

避難経路の種別

平地（広い）	平地（狭い）
橋（広い）	橋（狭い）
坂（広い）	坂（狭い）
階段（広い）	階段（狭い）

津波時の避難先
避難到達ポイント

N W E S
0 50 100 150 200m

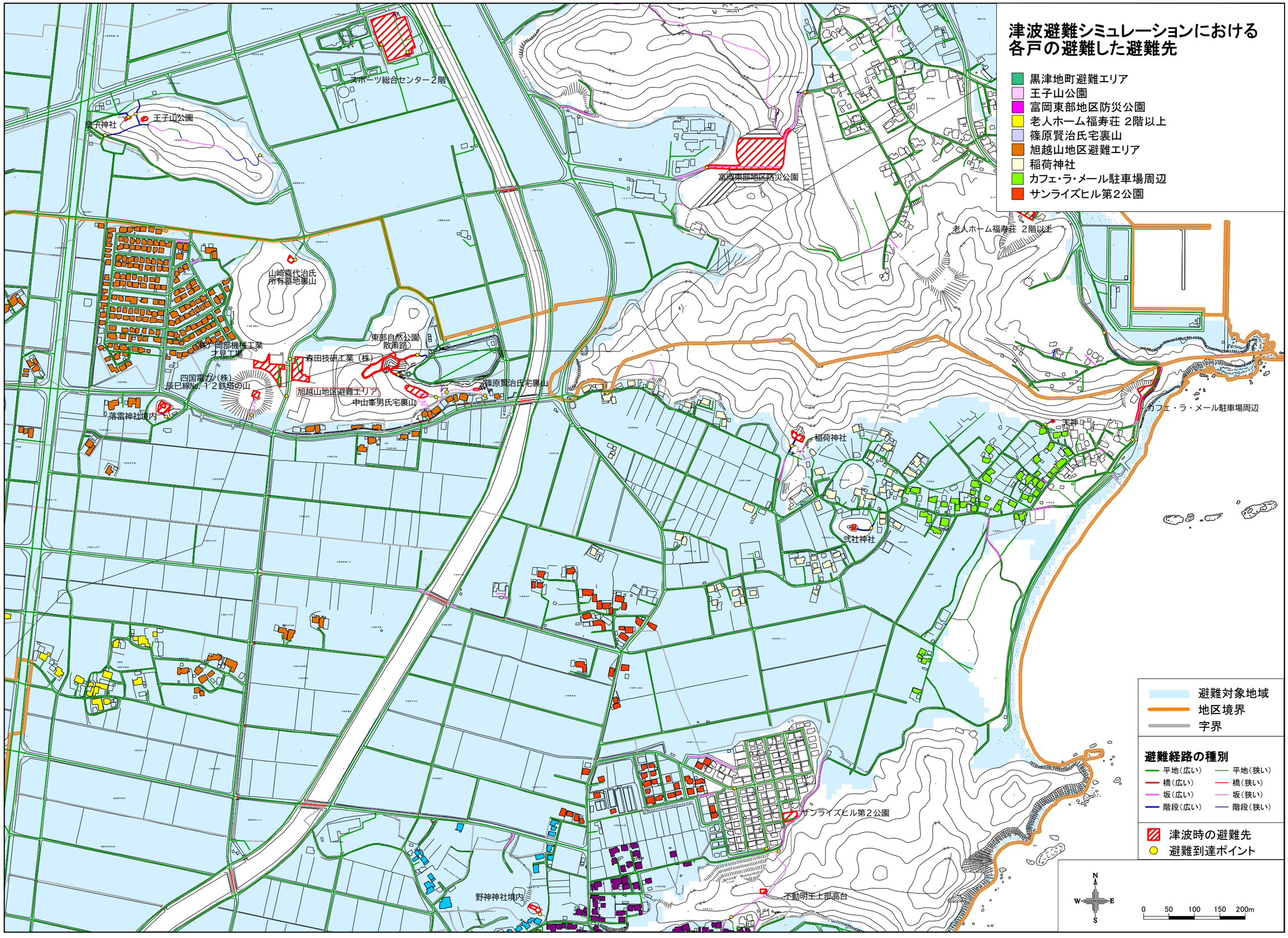
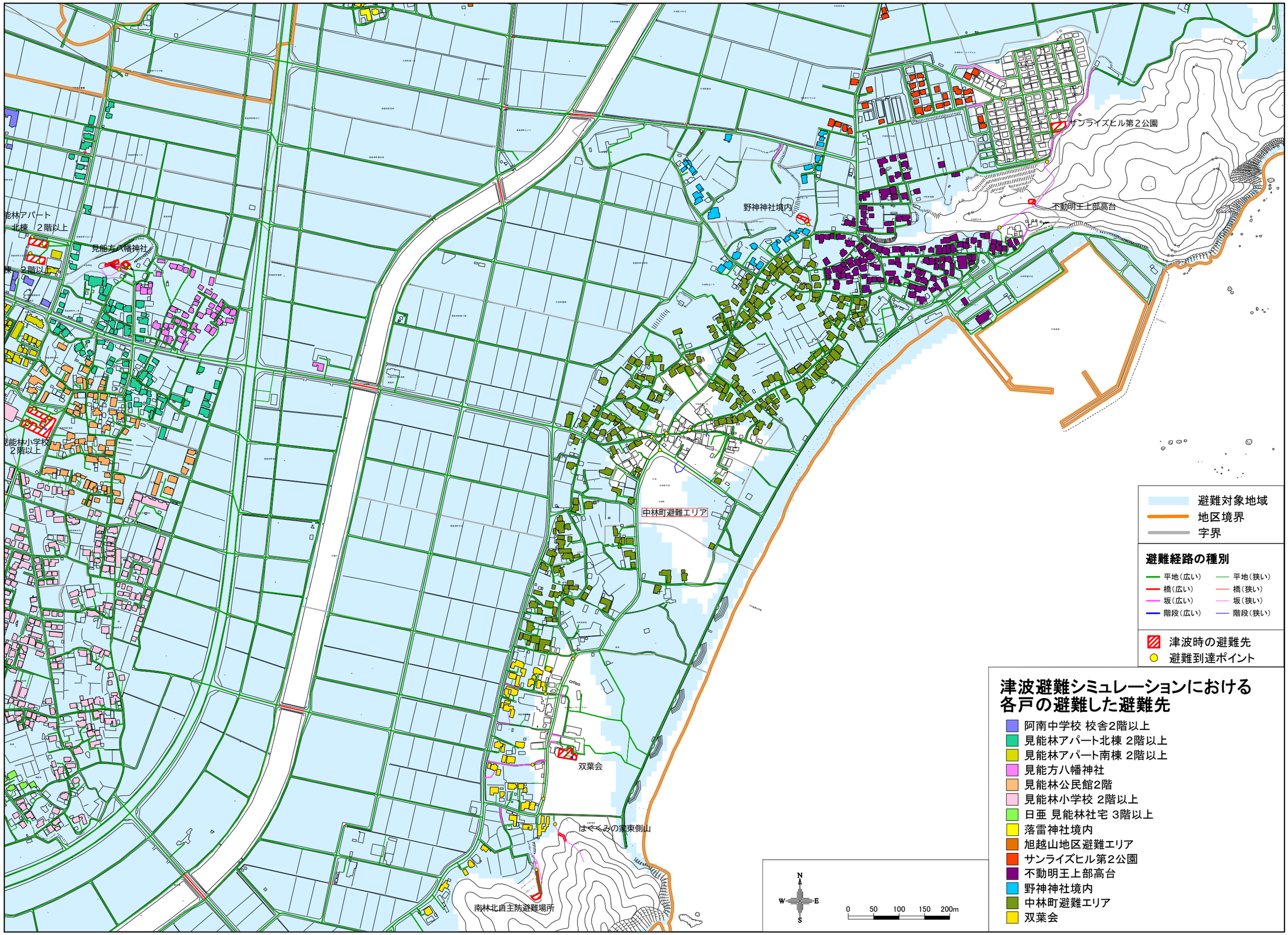

津波避難シミュレーションにおける
各戸の避難した避難先
黒津地町避難エリア
王子山公園
富岡東部地区防災公園
老人ホーム福寿荘 2階以上
篠原賢治氏宅裏山
旭越山地区避難エリア
稲荷神社
カフェ・ラ・メール駐車場周辺
サンライズヒル第2公園
スポーツ総合センター２階
王子山公園
駅弁神社
山崎喜代治氏
所有墓地裏山
東部自然公園
散策路
森田技研工業（株）
四国電力（株）
辰巳線No.１２鉄塔の山
旭越山地区避難エリア
申山峯男氏宅裏山
篠原賢治氏宅裏山
落雷神社境内
富岡東部地区防災公園
老人ホーム福寿荘 2階以上
カフェ・ラ・メール駐車場周辺
天神
稲荷神社
弐社神社
サンライズヒル第２公園
野神神社境内
不動明王上部高台
避難対象地域
地区境界
字界
避難経路の種別
平地（広い）
平地（狭い）
橋（広い）
橋（狭い）
坂（広い）
坂（狭い）
階段（広い）
階段（狭い）
津波時の避難先
避難到達ポイント
N
W
E
S
0
50
100
150
200m

図２９　津波避難シミュレーション結果
（避難先別）

（その５）



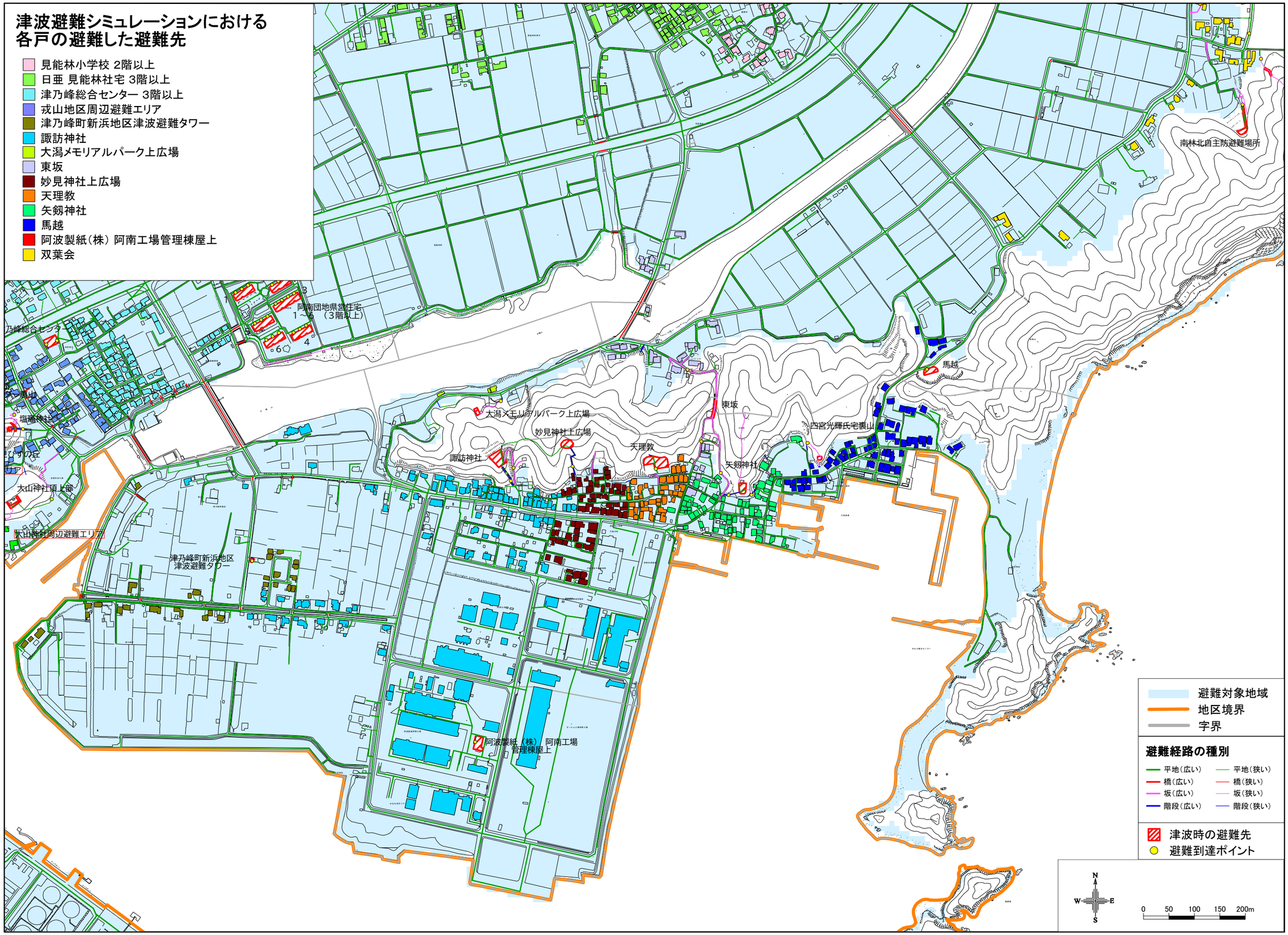

津波避難シミュレーションにおける
各戸の避難した避難先
見能林小学校 2階以上
日亜 見能林社宅 3階以上
津乃峰総合センター 3階以上
戎山地区周辺避難エリア
津乃峰町新浜地区津波避難タワー
諏訪神社
大潟メモリアルパーク上広場
東坂
妙見神社上広場
天理教
矢劔神社
馬越
阿波製紙(株) 阿南工場管理棟屋上
双葉会
南林北酋主防避難場所
阿南団地県営住宅
1～6（3階以上）
乃峰総合センター
塩竈神社
大山神社頂上部
大山神社周辺避難エリア
津乃峰町新浜地区
津波避難タワー
大潟メモリアルパーク上広場
妙見神社上広場
諏訪神社
天理教
東坂
四宮光輝氏宅裏山
矢劔神社
馬越
阿波製紙（株）阿南工場
管理棟屋上
避難対象地域
地区境界
字界
避難経路の種別
平地（広い）
平地（狭い）
橋（広い）
橋（狭い）
坂（広い）
坂（狭い）
階段（広い）
階段（狭い）
津波時の避難先
避難到達ポイント
N
W
E
S
0 50 100 150 200m

図３１　津波避難シミュレーション結果
（所要時間別）

（その１）

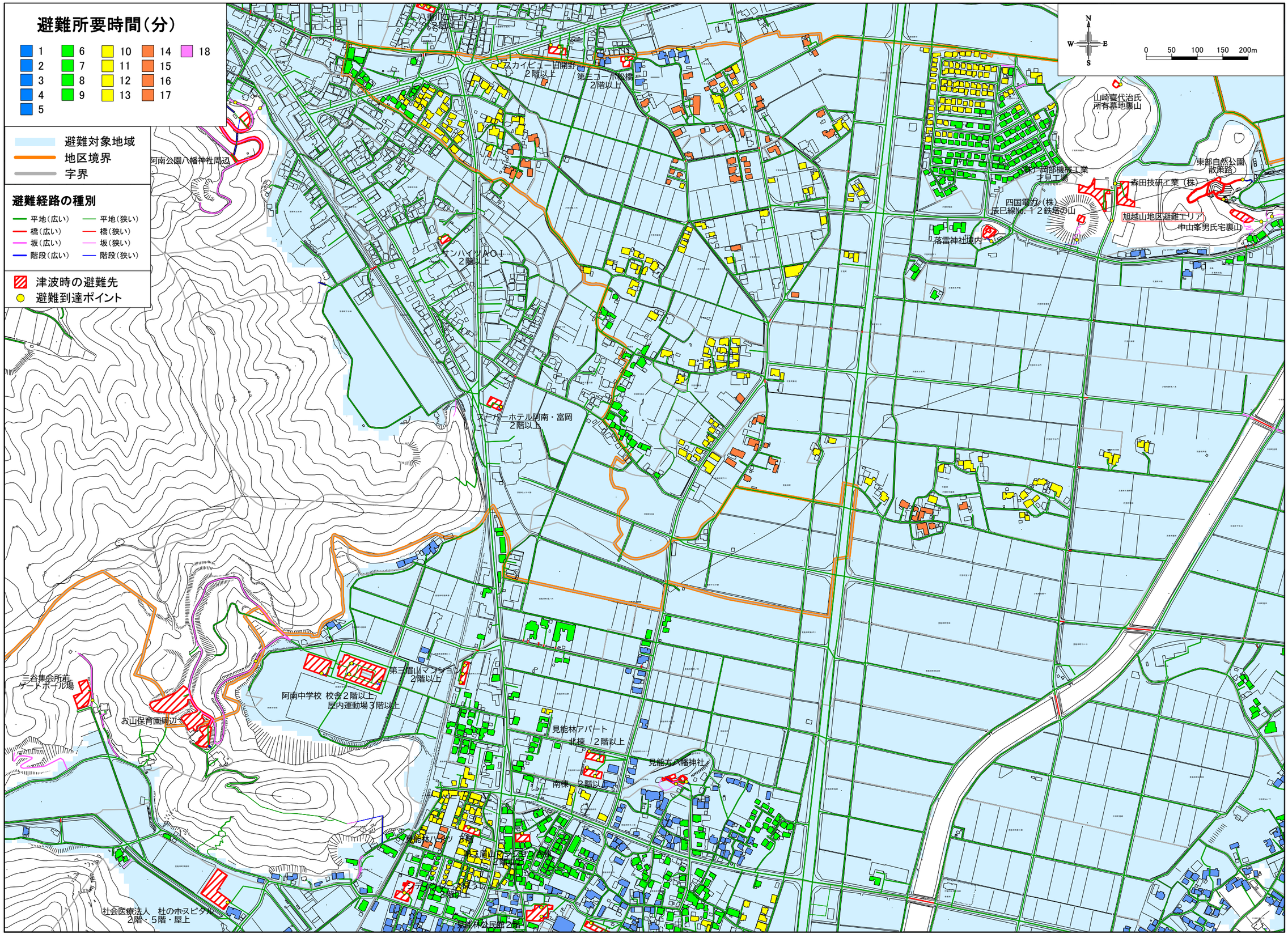


図３２　津波避難シミュレーション結果
（所要時間別）

（その２）

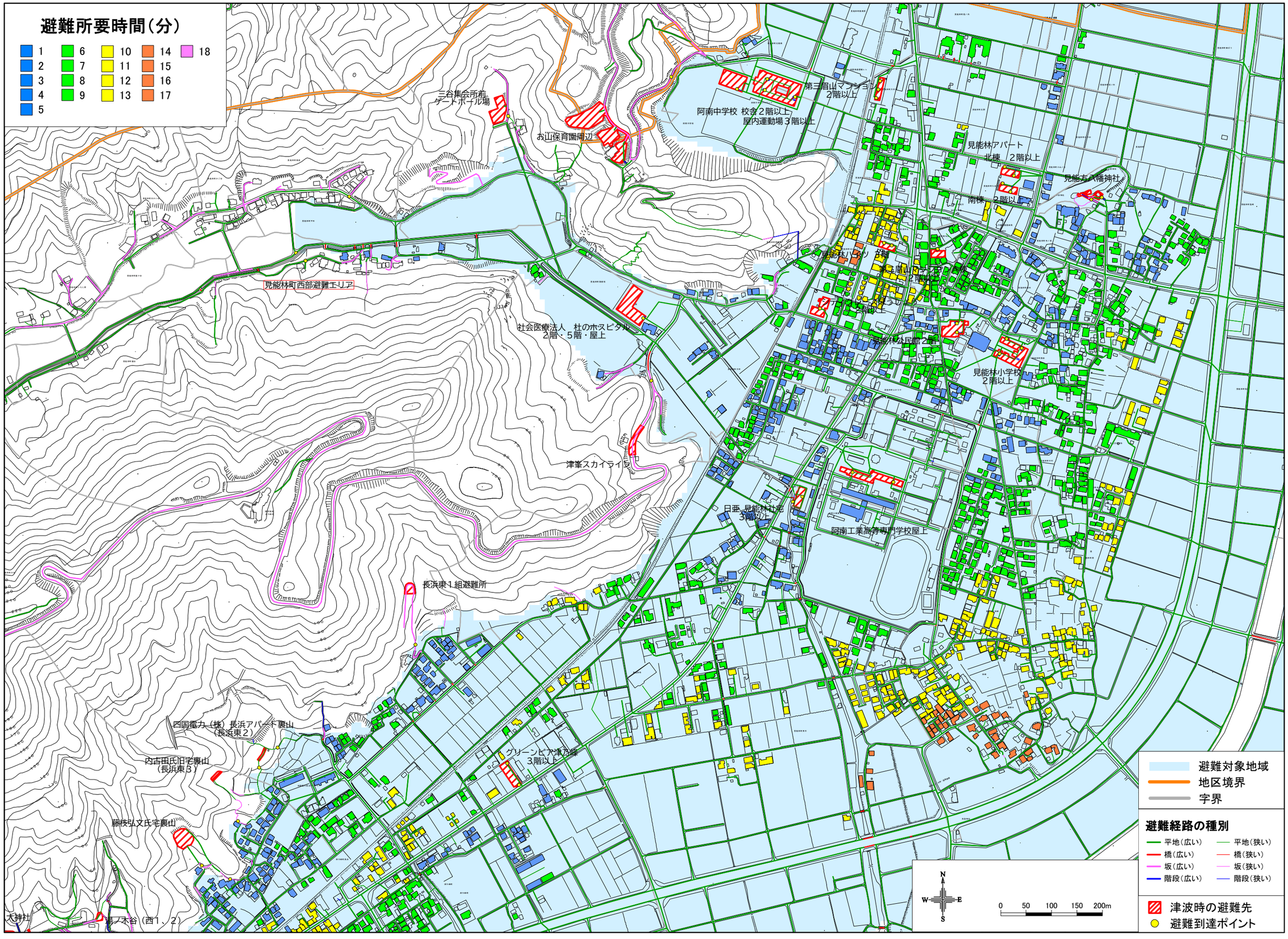


図３３　津波避難シミュレーション結果
（所要時間別）

（その３）

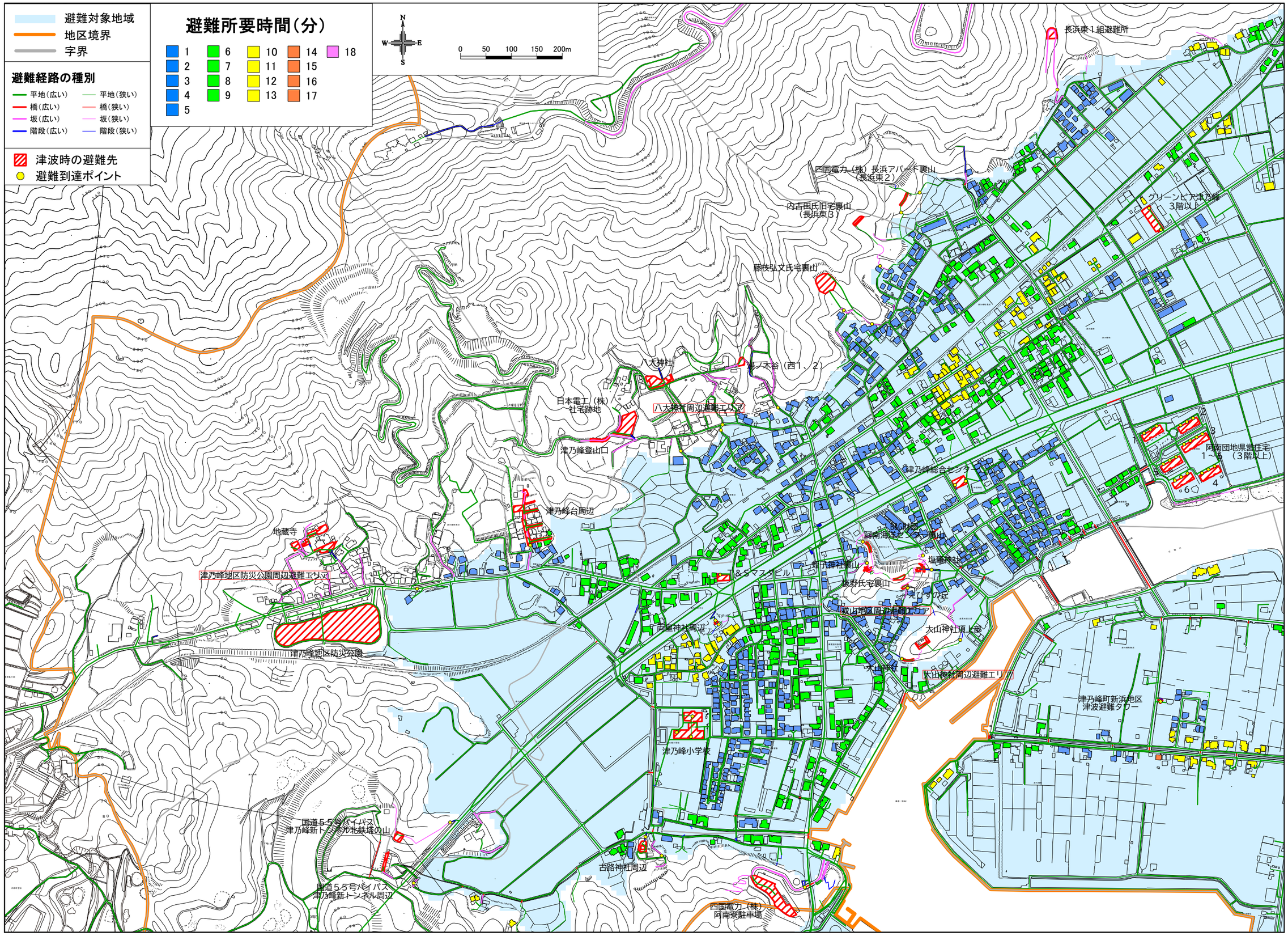


図３４　津波避難シミュレーション結果
（所要時間別）

（その４）

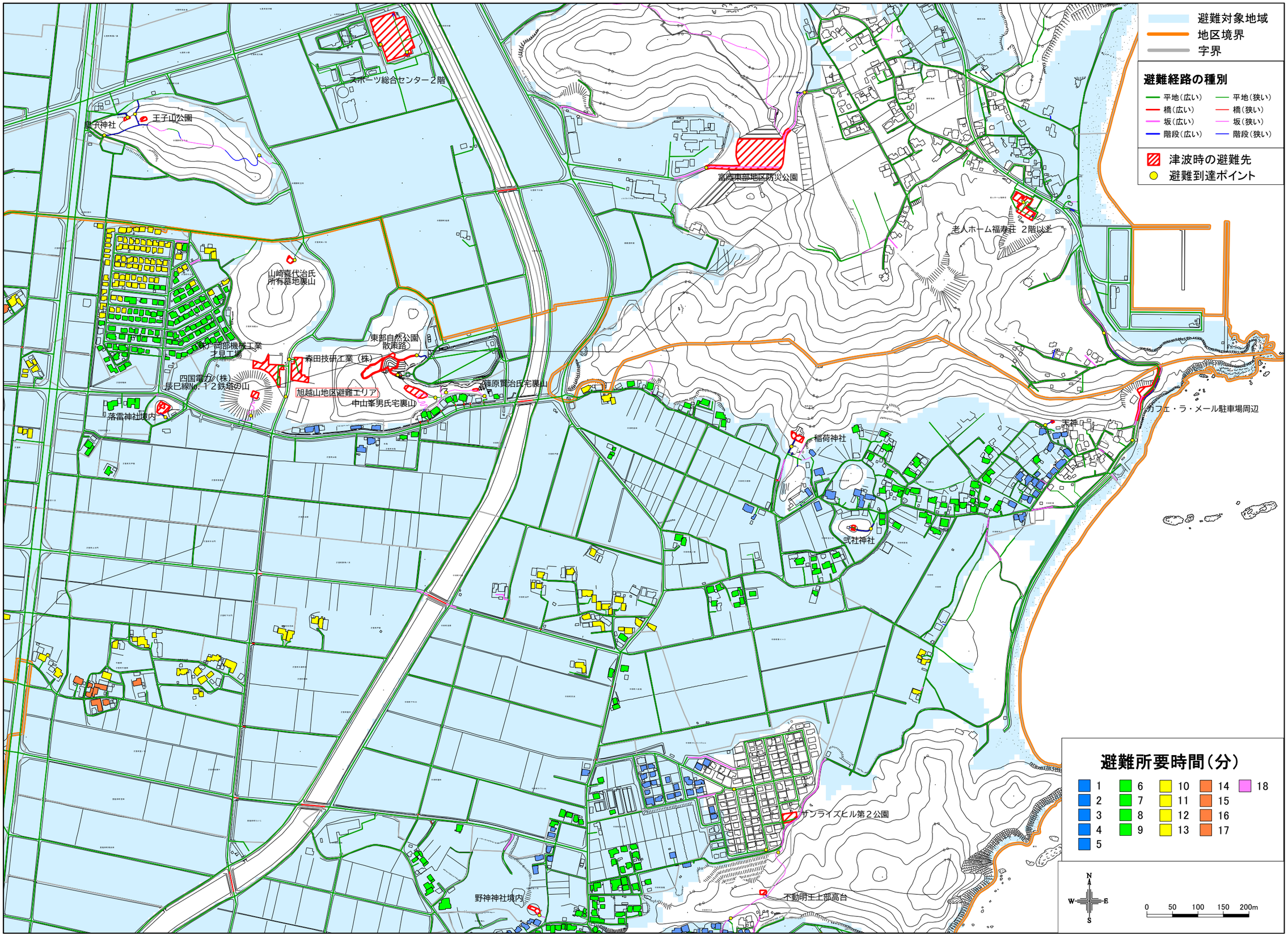


図３５　津波避難シミュレーション結果
（所要時間別）

（その５）

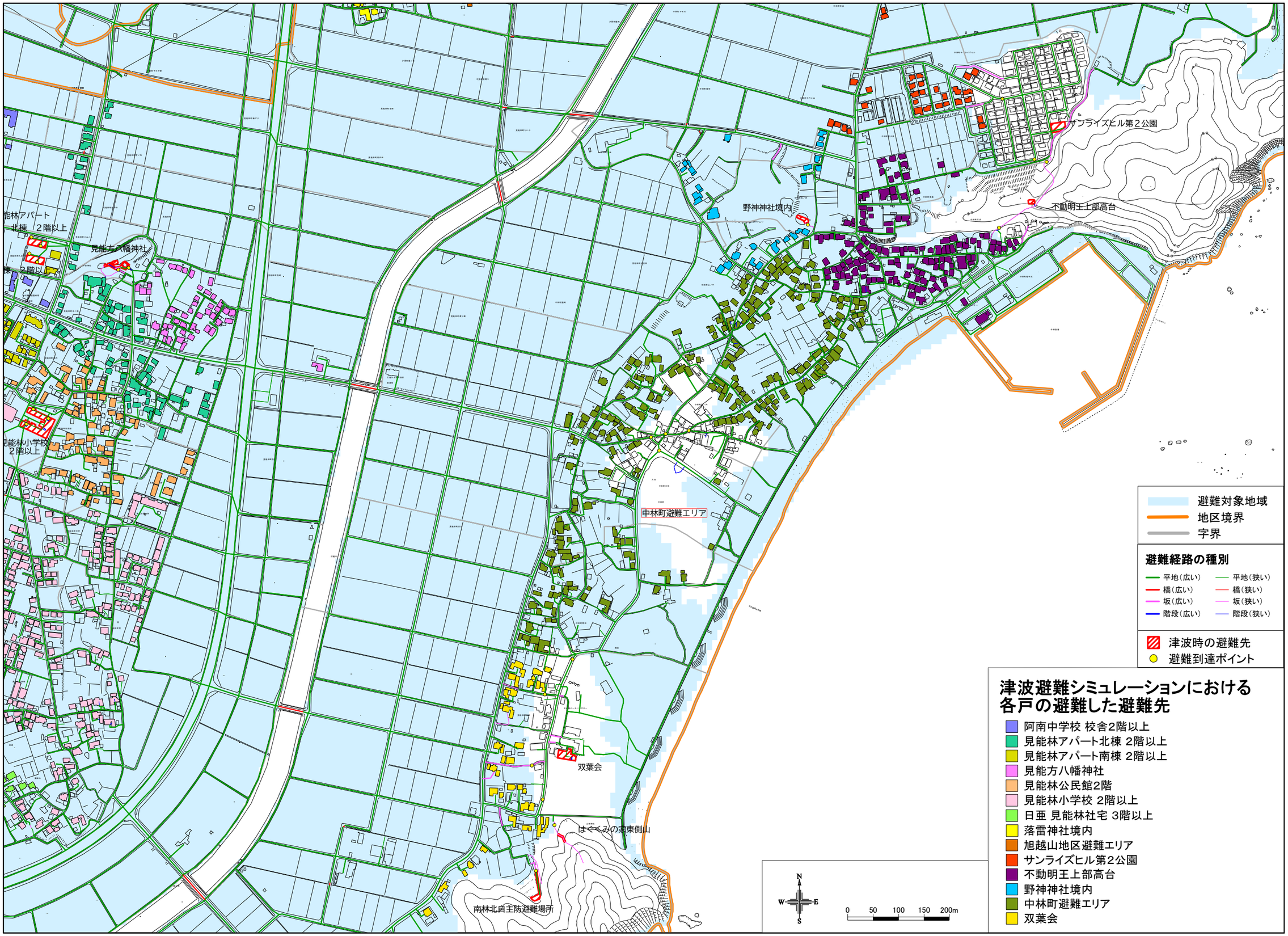
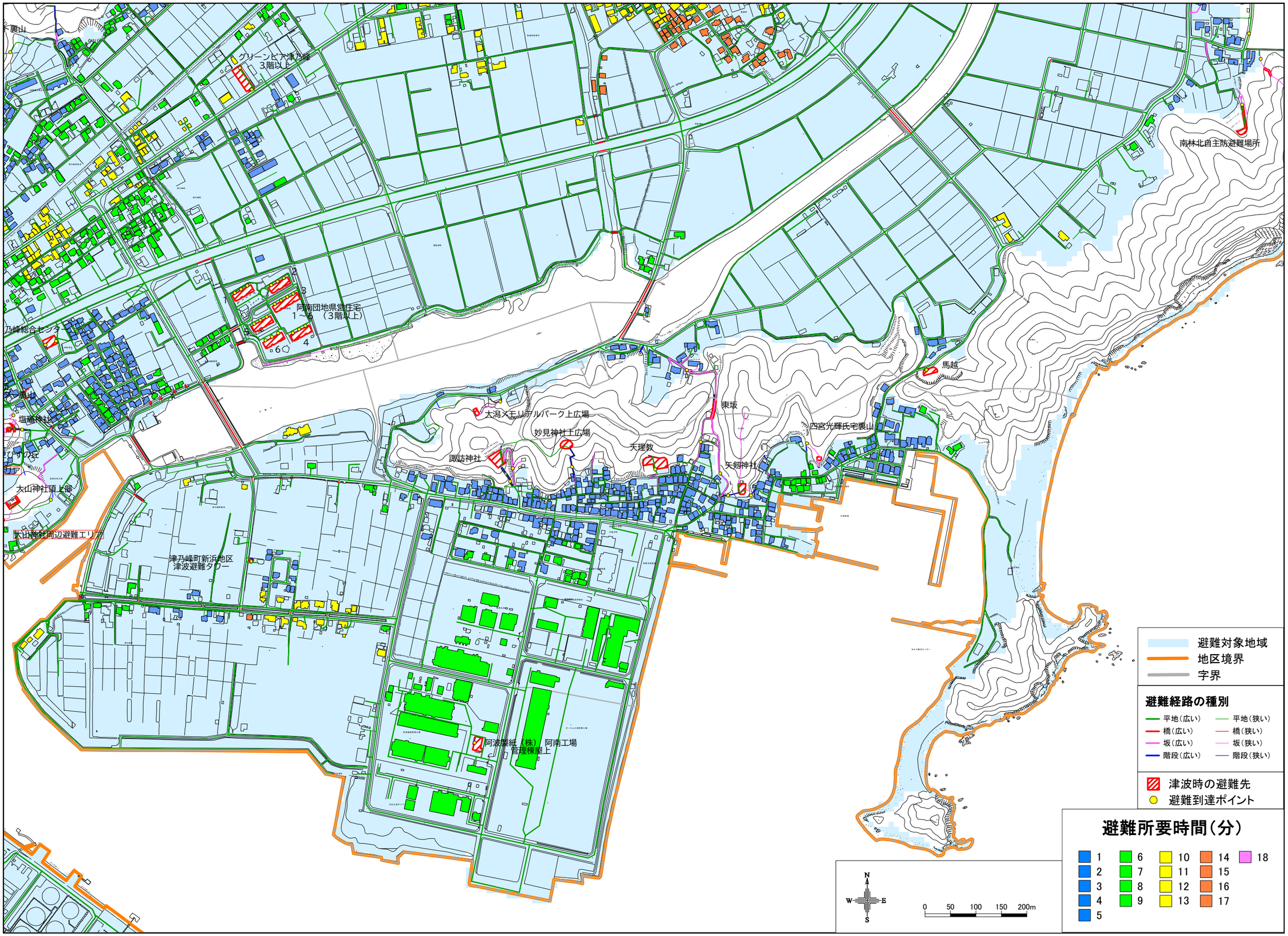


図３６　津波避難シミュレーション結果
（所要時間別）

（その６）



６　津波時の避難先の課題

見能林地区内には津波時の避難先が点在するものの、各自が近い避難先に避難すると、避難先から遠い地域の住民が避難できなくなる可能性がある。そのため、避難先に優先度を設けた計画的な避難行動が必要となる。優先度は津波から、**より遠く、より安全な場所**へ避難するために設定しているものが多く、避難した避難先の優先度が高いほど津波の影響を受けにくい状況となる。

一方、見能林地区内の一部では避難先を選択する余裕がなく、避難先が限定される場合がある。その場合には、その避難先の避難スペースを確保する必要があり、そのためには、その避難先周辺の住民は、より津波から遠ざかる方向の避難先等へ計画的に避難し、地域の住民全員が避難できるよう努めることが求められる。

これまで述べた通り、本計画で示す各戸の避難先は、現状の避難対象者の分布において、避難対象者全員が津波到達予想時間内に効率的に避難できることを目指して計画している。ただし、地震発生時の怪我や避難経路の被害（家屋やブロック塀の倒壊、液状化等）状況については、考慮していない。そのため、実際に地震発生後の避難の状況は、通常の避難行動がとれない人が増加するおそれがあることから、**シミュレーションによる避難先の他にも近隣の津波避難ビルを平常時から把握し、臨機応変に対応し、避難ができるよう備えておく必要がある。**

加えて、本計画で示された津波時の避難先だけでなく、基準水位より高い近くの高台や津波避難ビルの要件を満たす建物（基準水位よりも高い階層を持つ昭和５６年以降の新耐震基準を満たす鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造の建物）も、逃げ遅れた場合に有効であるため、周辺の同建物を把握しておくことが望ましい。

なお、先に述べた通り、避難行動要支援者の津波時の避難先等については、支援者となる消防機関、民生委員、社会福祉協議会及び自主防災組織等と協力しながら個別計画を策定し、避難行動要支援者一人一人の避難行動の支援活動を推進していく。

第４章　今後の取り組み

１　津波避難訓練

津波避難訓練は、継続して行うことが必要であるため、地域全体で少なくとも毎年１回ずつ定期的に実施することが望ましく、できる限り多くの人に参加してもらうよう周知・啓発に努める。また各自主防災組織等の個別訓練についても、計画的に実施することが望ましい。

訓練では、これまで実施してきた内容に加えて、本計画に基づく津波避難訓練を実施し、自宅から避難先までの避難経路及び避難に要する時間を確認する。

さらに、各個人に対しても積極的な訓練参加、体力づくり及び通路の確保（通行の妨げとなる物を取り除く等）等の啓発を推進していく必要がある。

また、本計画では地震発生直後に、まず津波から逃れるための一時的な緊急避難を計画したものであるため、被災後に避難生活をするための避難所の周知や運営について今後検討する必要がある。

２　避難行動要支援者の対策

避難行動要支援者の避難支援対策については、要支援者が自らの安全は自ら守る**“自助”**と地域（民生委員、自主防災組織、町内会、自治会、近隣住民等）の**“共助”**が基本となる。

このため、要支援者自身とその家族にも、各自の状況に合わせた避難方法の検討を行ってもらうとともに、地域と積極的に交流を図ってもらう。また、地域もその状況を把握したうえで具体的な避難支援方法を検討し、互いに協力しながら避難支援体制の強化に取り組んでいく。（個別計画の策定）

３　自主防災組織の結成促進

阿南市全域における令和３年１月３１日現在の自主防災組織結成率は、98.54％（全 31,183 所帯のうち 30,727 所帯（233 組織）が各自主防災組織の活動範囲内）である。

阿南市では、地域ごとの各組織の上位に公民館単位（１４地区）の協議会を、さらに１４協議会による連合会組織を構成し、発災時には自主的・積極的な防災活動の輪が広がる自主防災組織づくりに努めている。各組織では、県の寄り合い防災講座や防災に関する講演会等の参加で、防災対策の知識習得に努めながら、定期的に防災訓練も実施している。今後も自主防災組織の組織率１００％を目標に、市民への防災啓発を図る。

なお、阿南市では自主防災組織を新規設立された場合や、結成されている自主防災会ごとに、防災備品や補助金を交付し、防災資機材の充実と防災活動の活性化を図っている。

１）　自主防災組織設立支援（ヘルメット等防災備品の支給）
２）　自主防災組織の活動補助（補助金の交付）
３）　避難路・津波時の避難先整備に係る原材料等支給

ここで、自主防災組織の主な活動内容は、以下の通りである。

ａ．災害時にあっては、地区内の警戒、被害状況の把握・伝達、出火防止と初期消火、救出・救護、避難命令の伝達・誘導、給食・給水、避難所での衛生管理等を行う。

b．平時においては、防災知識の普及、防災資機材の備蓄・点検、危険箇所の把握を行う。また、二次災害で大規模災害の原因となりやすい火気使用器具や火災警報器等の点検整備を定期的に実施する。

c．自主防災活動は、長期に渡り、その時々の反省を踏まえながら、継続的に行われることが必要であり、活動のマンネリ化、参加者の減少化や固定化を打破するための、工夫をこらした自主防災活動を推進する。

４　建物・家具の耐震対策

阿南市が実施する以下の事業も活用しながら、個人の住宅や民間建築物の耐震診断・耐震化、家具の転倒防止対策等を行い、地震時に怪我をせず、津波時にすみやかに避難できるよう備える。

問い合わせ先
阿南市　建設部　住宅課
〒774-8501　阿南市富岡町トノ町１２番地３
TEL：0884-22-3431

（１）阿南市木造住宅耐震化促進事業

大地震による住宅の倒壊等の被害の軽減を図ることを目的に、木造住宅の耐震診断と耐震改修等に対する補助事業を実施している。

（２）阿南市危険廃屋等除却支援事業

市民の安全・安心の確保並びに住環境の改善及び良好な景観の促進を図ることを目的に、老朽化し危険な空き家等の除却等に対する補助事業を実施している。

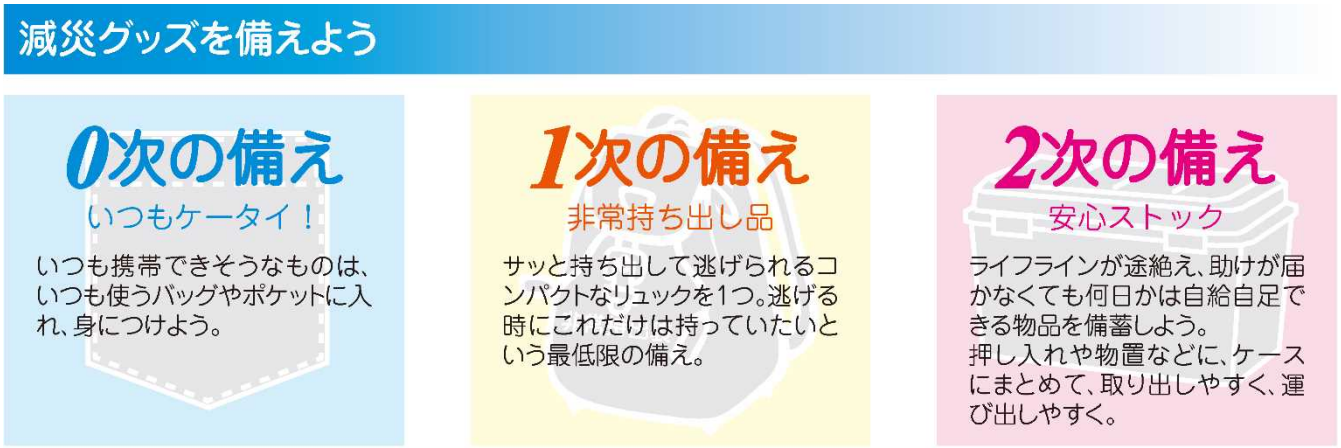
【対象となる危険廃屋等】

（３）阿南市危険ブロック塀等撤去支援事業

地震等によるブロック塀等の倒壊による被害や避難時等の通行妨害を防止することを目的に、避難路沿道等に面した危険性の高いブロック塀等の撤去等に対する補助事業を実施している。

5　非常持ち出し品・備蓄品の準備

阿南市が平成 26 年３月に作成し、全戸配布した「南海トラフ巨大地震・津波にそなえて津波防災マップ」には、非常時の持出品リストを掲載している。本誌を参考に、災害時に備えて準備をしておく。



減災グッズリスト

分類		0次 携帯	1次 持出	2次 備蓄
水	飲料水	500㎖	1.5ℓ程度	3ℓ/人･日程度
食	携帯食	あめ玉、チョコレート 栄養補給食品　等		
	非常食		乾パン	アルファ米
	保存食		お米、乾･干物 インスタント食品、缶詰	
装備		ホイッスル 帽子 ミニライト	防災ずきん ヘルメット 作業用手袋 運動靴	予備電池
			発電･充電式懐中電灯	
道具			ハサミ ナイフ 缶切り ロープ(救助･避難用)	ラップ アルミホイル 鍋 カセットコンロ ボンベ、工具
情報	ラジオ	携帯ラジオ	予備電池	
			スピーカー付ラジオ	
	携帯電話･スマートフォン	携帯電話･スマートフォン		
		予備バッテリー 充電器		
	身分証明	運転免許証(コピー) 保険証(コピー)		
	筆記具	ペン、メモ帳 連絡メモ、備えリスト		
			油性マジック	
	現金	財布	公衆電話用10円玉 (1週間程度しのげる額)	

分類		0次 携帯	1次 持出	2次 備蓄
救急	救急用品	ばんそうこう	消毒薬 脱脂綿 ガーゼ･包帯 三角巾　等	
			毛抜き･とげ抜き	
	薬	持病薬	常備薬 お薬手帳	
衛生		マスク		
		簡易トイレ、トイレットペーパー ティッシュペーパー ウェットティッシュ		
				石けん 歯磨きセット
衣	衣類		下着･衣類	
		ポンチョ･雨合羽		
防寒		使い捨てカイロ		
			サバイバル ブランケット (簡易防寒具)	毛布
汎用		ハンカチ (大判) 手ぬぐい	タオル	バスタオル
		安全ピン		
		ポリ袋(大小あわせて10枚程度)		
			レジャーシートか ブルーシート 新聞紙、段ボール	
			ライター 布ガムテープ	

上記のグッズの他、それぞれで必要なもの（コンタクトレンズや粉ミルク、オムツ等）を考えて追加しましょう。

図３７　減災グッズリスト（阿南市津波防災マップ（平成 26 年３月）より抜粋）

６　定期的な計画の見直し

本計画を基に、津波避難訓練を実施するとともに、津波時の避難先の増減や訓練結果を踏まえて、地域の実状にあった、より良い計画へ今後更新していく。

［自主防災組織一覧］（令和３年１月３１日現在）

- 大潟町馬越え自主防災会
- 大潟町矢剱自主防災会
- 大潟町天理さん自主防災会
- 大潟町妙見山自主防災会
- 大潟町氏神自主防災会
- 長浜東二組防災会
- 四宮団地自主防災会
- 津乃峰団地自主防災会
- 長浜西３・４組防災会
- 津乃峰町戎山自主防災会
- 長浜西１・２組防災会
- 長浜東３組自主防災会
- 北の脇自主防災会
- 新浜自主防災会
- 舳崎自主防災会
- 才見町自主防災会
- 東分南傍示自主防災会
- 長浜東１組自主防災会
- 東分駅前傍示自主防災会
- 林崎自主防災会
- 見能方北分自主防災会
- 津乃峰町中分地区自主防災会
- 見能方西分地区自主防災会
- 南林南自主防災会
- 南林北自主防災会
- 中林地区自主防災会
- 石仏自主防災会
- 見能方大場丁自主防災会
- 中林サンライズヒル自主防災会
- 社会福祉法人双葉会自主防災会
- 津乃峰町地方２自主防災会
- 四葉会２－１地区自主防災会
- 津乃峰町舳崎団地自主防災会
- 東分地方１区自主防災会
- 津乃峰町地方２の４自主防災会

阿南市危機管理部危機管理課
〒774-8501
徳島県阿南市富岡町トノ町12番地3
TEL（0884）22−9191
FAX（0884）28−9884